

【FdData 高校入試：中学数学 2 年：角の計算】

[\[対頂角・平行線と角\]](#) / [\[三角形と角\]](#) / [\[二等辺三角形・正三角形\]](#) / [\[平行四辺形と角\]](#) / [\[多角形の内角の和・外角の和\]](#) / [\[多角形の角：応用\]](#) / [\[FdData 入試製品版のご案内\]](#)

[\[FdData 入試ホームページ\]](#)掲載の pdf ファイル(サンプル)一覧

※次のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると、新規ウィンドウが開きます

数学：[\[数学 1 年\]](#)，[\[数学 2 年\]](#)，[\[数学 3 年\]](#)

理科：[\[理科 1 年\]](#)，[\[理科 2 年\]](#)，[\[理科 3 年\]](#)

社会：[\[社会地理\]](#)，[\[社会歴史\]](#)，[\[社会公民\]](#)

※全内容を掲載しておりますが、印刷はできないように設定しております

【】 対頂角・平行線と角

[対頂角]

[問題]

右の図のように 3 直線が 1 点で交わっているとき、
 $\angle x = (\quad)^\circ$ である。

(沖縄県)(*)

[解答欄]

[ヒント]

[対頂角の性質]

対頂角は等しい



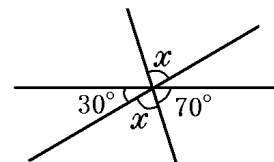
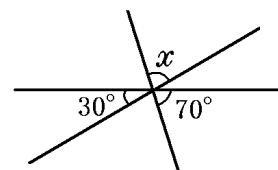
[解答]80

[解説]

対頂角は等しい。

右の図で、 $30 + x + 70 = 180$ ， $x + 100 = 180$ ，

$x = 100$



[平行線と角]

[問題]

図において、 $l \parallel m$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

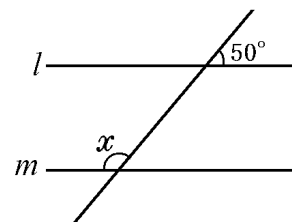
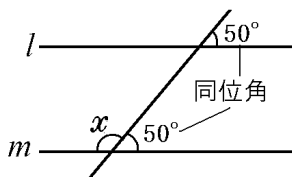
(長崎県)(*)

[解答欄]

[解答] 130°

[解説]

平行線の場合、同位角は等しい。



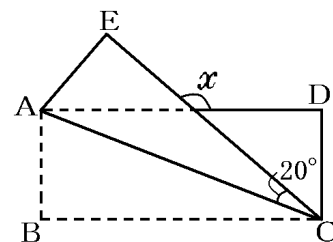
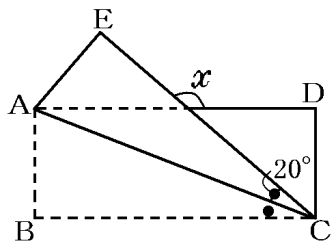
[問題]

右の図のように、長方形 ABCD を対角線 AC を折り目として折り返し、頂点 B が移った点を E とする。 $\angle ACE = 20^\circ$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(和歌山県)(*)

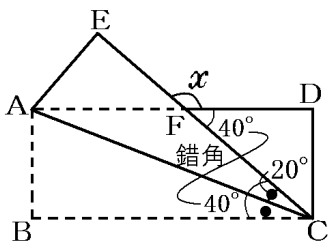
[解答欄]

[ヒント]



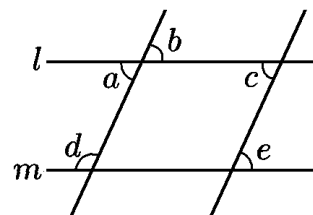
[解答] 140°

[解説]



[問題]

右の図のように、直線 l 、直線 m と 2 つの直線が交わっている。 $\angle a$ 、 $\angle b$ 、 $\angle c$ 、 $\angle d$ 、 $\angle e$ のうち、どの角とどの角が等しければ、直線 l と直線 m が平行であるといえるか、その 2 つの角を答えよ。



(群馬県)(*)

[解答欄]

[解答] $\angle c$ と $\angle e$

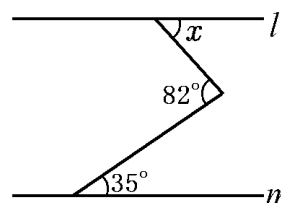
[平行な補助線を引く]

[問題]

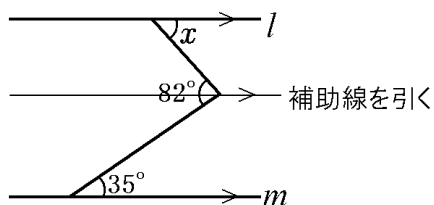
右の図で、 $l \parallel m$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(栃木県)(**)

[解答欄]



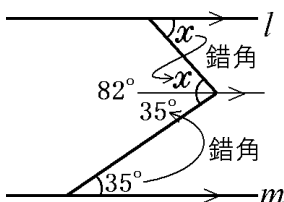
[ヒント]



[解答] 47°

[解説]

平行線の錯角は等しい。この問題は平行な補助線を引くのがポイントである。



[問題]

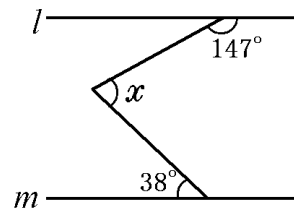
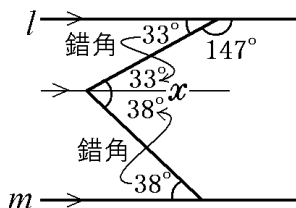
右の図で、2直線 l, m は平行である。このとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(島根県)(**)

[解答欄]

[解答] 71°

[解説]



[問題]

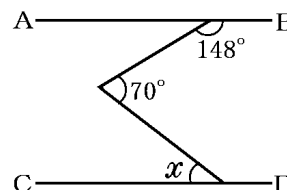
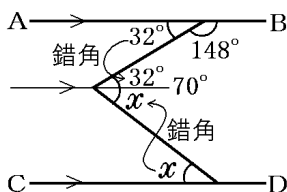
右の図で、 $AB \parallel CD$ である。このとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(長野県)(**)

[解答欄]

[解答] 38°

[解説]

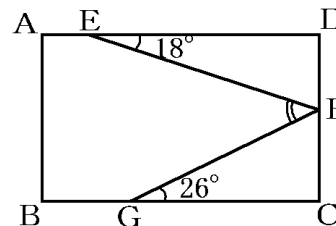


[問題]

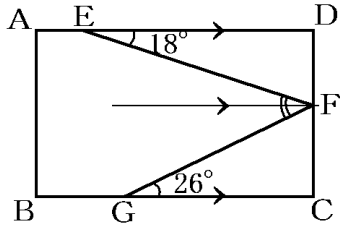
右図で、四角形 $ABCD$ は長方形、 E, F, G はそれぞれ辺 AD, DC, BC 上の点である。 $\angle DEF = 18^\circ$, $\angle FGC = 26^\circ$ のとき、 $\angle EFG$ の大きさは何度か。

(愛知県)(**)

[解答欄]

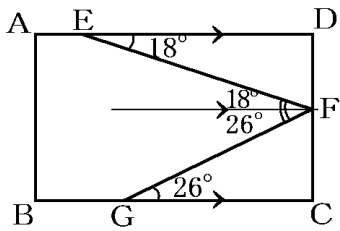


[ヒント]



[解答]44°

[解説]



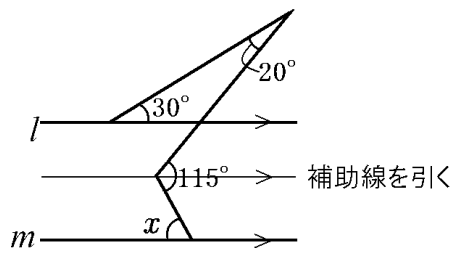
[問題]

右の図で、2直線 l, m は平行である。このとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(鹿児島県)(**)

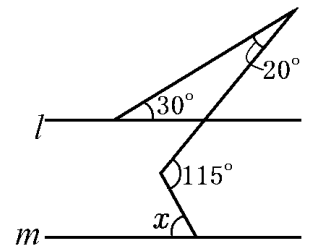
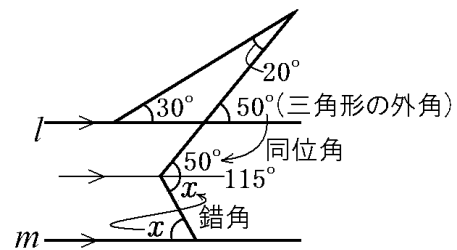
[解答欄]

[ヒント]



[解答]65°

[解説]



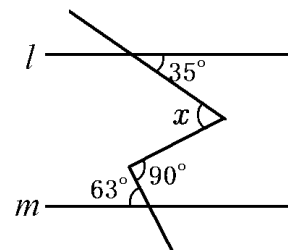
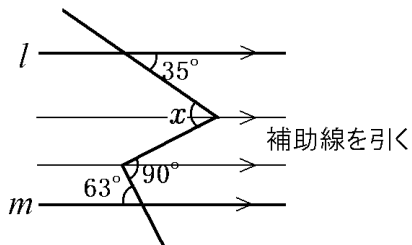
[問題]

右の図において、 $l \parallel m$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(鳥取県)**

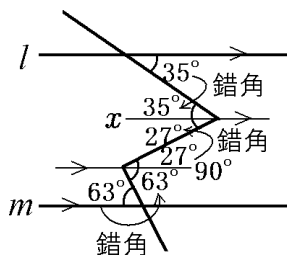
[解答欄]

[ヒント]



[解答] 62°

[解説]



[問題]

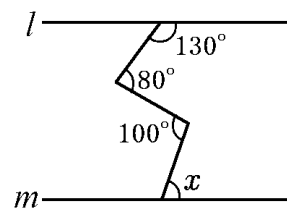
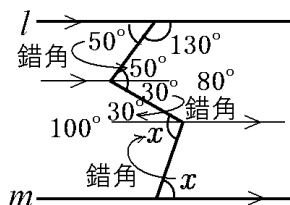
右の図で、 $l \parallel m$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(愛媛県)**

[解答欄]

[解答] 70°

[解説]



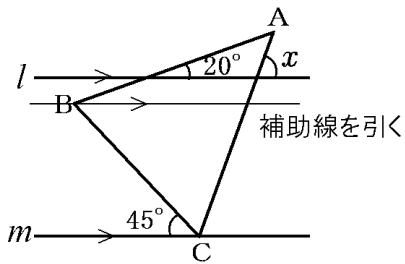
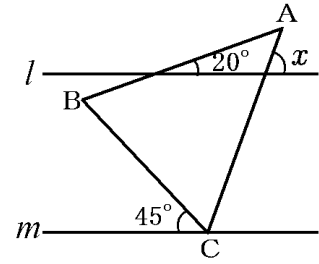
[問題]

右の図のように、平行な2直線 l, m と $\triangle ABC$ がある。
 $\triangle ABC$ は $AB=AC$ の二等辺三角形であり、頂点 C は m 上にある。このとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(宮崎県)(**)

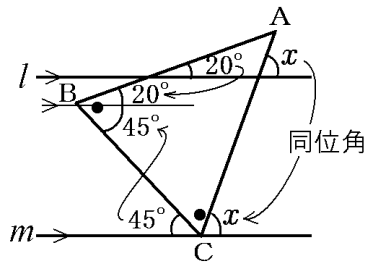
[解答欄]

[ヒント]



[解答] 70°

[解説]



【】 三角形と角

[内角の和, 外角]

[問題]

右の図のような△ABCがある。∠xの大きさを求めよ。

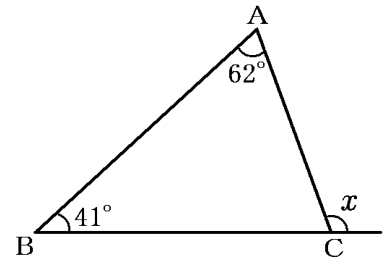
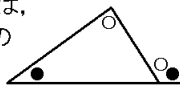
(北海道)(*)

[解答欄]

[ヒント]

[三角形の外角]

三角形の1つの外角は、
そのとなりにない2つの
内角の和に等しい



[解答]103°

[解説]

三角形の外角は、そのとなりにない2つの内角の和に等しいので、 $x = 41^\circ + 62^\circ = 103^\circ$

[三角形の外角]

三角形の1つの外角は、
そのとなりにない2つの
内角の和に等しい



[問題]

右の図の△ABCにおいて、∠xの大きさを求めよ。

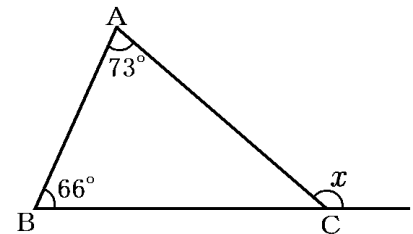
(栃木県)(*)

[解答欄]

[解答]139°

[解説]

$x = 66^\circ + 73^\circ = 139^\circ$

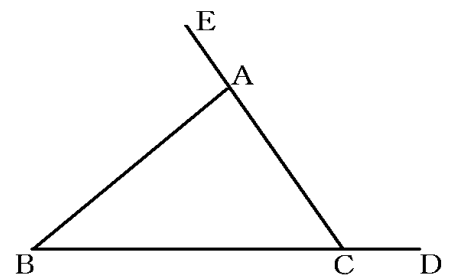


[問題]

右の図のように、△ABCの辺BCを延長してCDとし、辺CAを延長してAEとする。∠ABC=41°、∠ACD=124°のとき、∠BAEの大きさは何度か。

(広島県)(*)

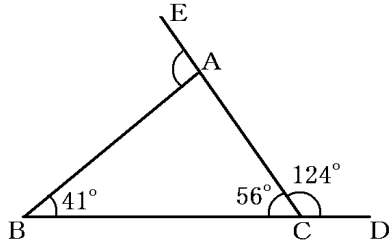
[解答欄]



[解答]97°

[解説]

$$\angle BAE = 41^\circ + 56^\circ = 97^\circ$$



[問題]

右の図のように、3つの直線が交わっている。 $\angle x$ の大きさは何度か。

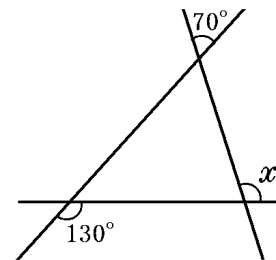
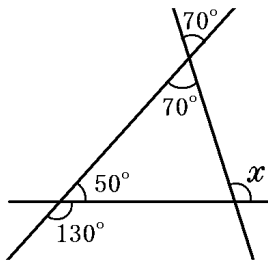
(兵庫県)(*)

[解答欄]

[解答]120°

[解説]

$$x = 50^\circ + 70^\circ = 120^\circ$$



[平行線と三角形の内角・外角]

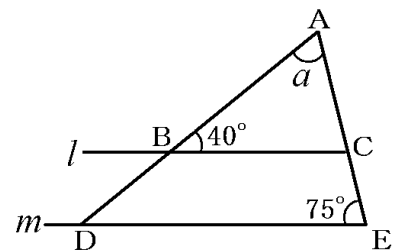
[問題]

右の図で2直線 l , m は平行である。 $\angle a$ の大きさを求めよ。

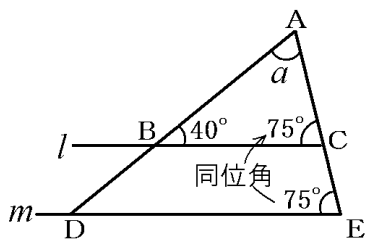
(秋田県)(*)

[解答欄]

[解答]65°



[解説]

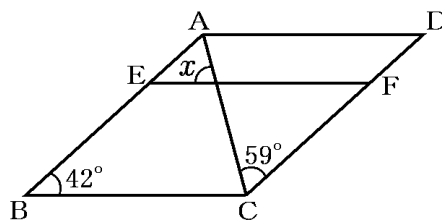


[問題]

右の図で、四角形 ABCD は平行四辺形である。

EF // AD のとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

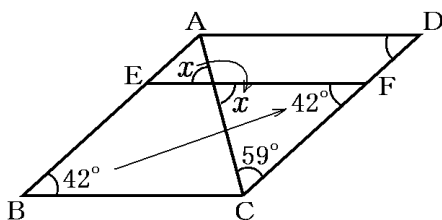
(岩手県)(*)



[解答欄]

[解答] 79°

[解説]

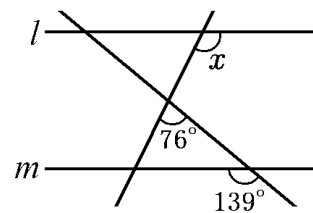


[問題]

右の図で、2 直線 l, m は平行である。このとき、

$\angle x$ の大きさを求めよ。

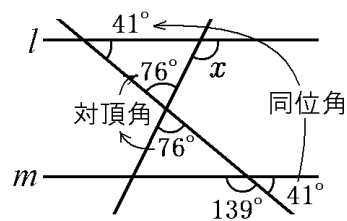
(秋田県)(*)



[解答欄]

[解答] 117°

[解説]



[問題]

右の図において、2直線 l , m は平行である。

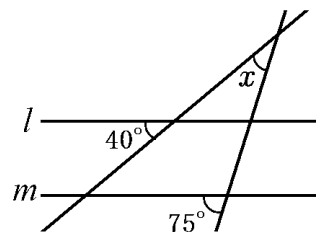
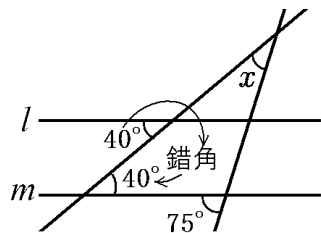
$\angle x$ の大きさを求めよ。

(秋田県)(*)

[解答欄]

[解答] 35°

[解説]



[問題]

次の図において、2直線 l , m は平行である。このとき、

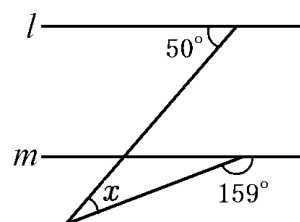
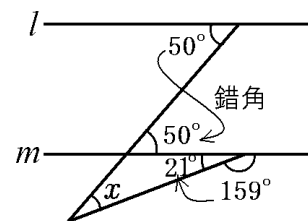
$\angle x$ の大きさを求めよ。

(神奈川県)(*)

[解答欄]

[解答] 29°

[解説]



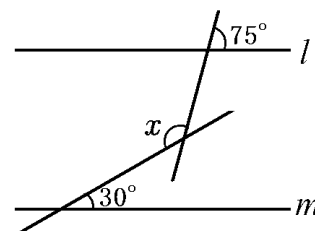
[問題]

右の図で2直線 l , m は平行である。このとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

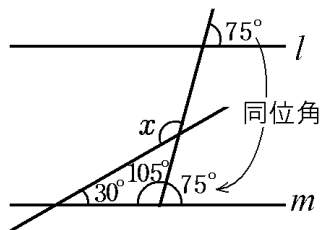
(茨城県)(*)

[解答欄]

[解答] 135°



[解説]



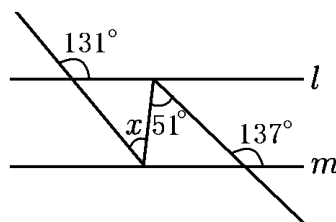
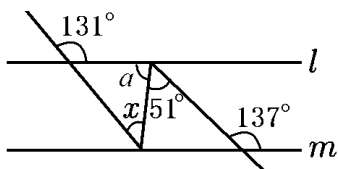
[問題]

右の図で、2直線 l 、 m は平行である。このとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(秋田県)**

[解答欄]

[ヒント]



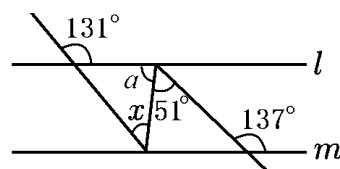
[解答] 45°

[解説]

平行線の錯角は等しいので、 $a + 51 = 137$

よって、 $a = 86^\circ$

$a + x = 131$, $86 + x = 131$, $x = 45^\circ$



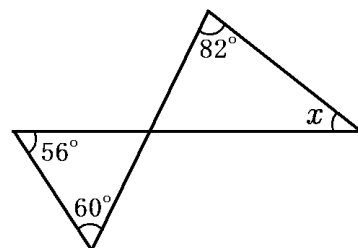
[三角形が2つ]

[問題]

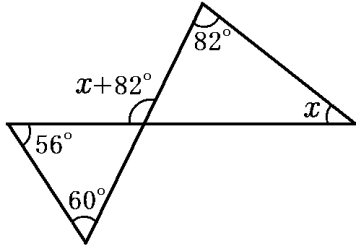
右の図で、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(栃木県)**

[解答欄]



[ヒント]

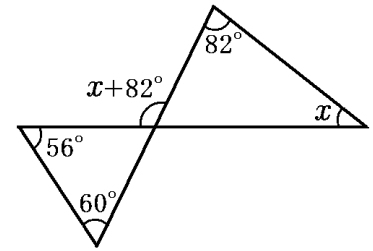


[解答] 34°

[解説]

三角形の外角は、そのとりにない2つの内角の和に等しいので、 $x + 82^\circ = 56^\circ + 60^\circ$ 、 $x = 56^\circ + 60^\circ - 82^\circ$

$$x = 34^\circ$$



[問題]

右の図で、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(秋田県)**

[解答欄]

[解答] 43°

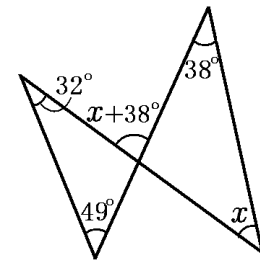
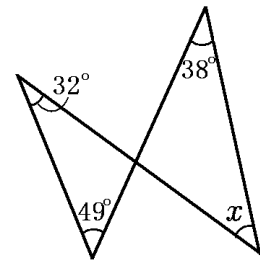
[解説]

三角形の外角は、そのとりにない2つの内角の和に等しいので、

$$x + 38^\circ = 32^\circ + 49^\circ$$

$$x = 32^\circ + 49^\circ - 38^\circ$$

$$x = 43^\circ$$

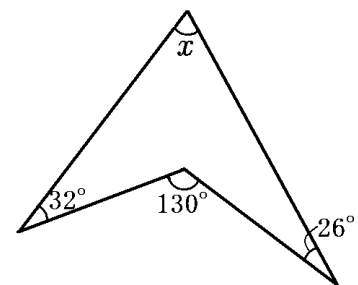


[問題]

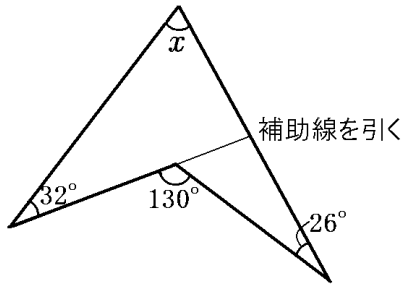
右の図において、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(島根県)**

[解答欄]



[ヒント]



[解答]72°

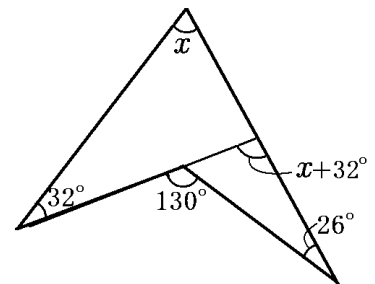
[解説]

三角形の外角は、そのとりにない2つの内角の和に等しいので、

$$(x + 32^\circ) + 26^\circ = 130^\circ$$

$$x = 130^\circ - 32^\circ - 26^\circ$$

$$x = 72^\circ$$



[問題]

右の図の $\angle x$ の大きさを求めよ。

(青森県)**

[解答欄]

[解答]56°

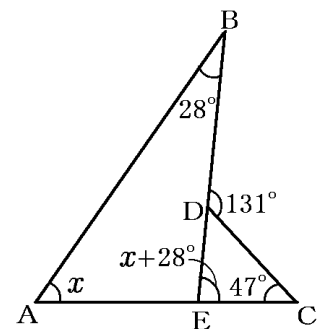
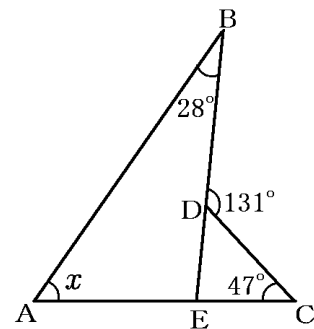
[解説]

三角形の外角は、そのとりにない2つの内角の和に等しいので、

$$(x + 28^\circ) + 47^\circ = 131^\circ$$

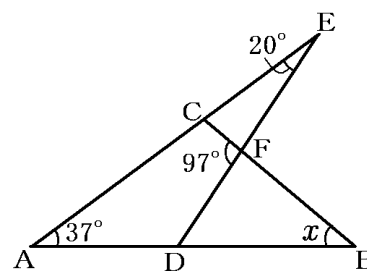
$$x = 131^\circ - 28^\circ - 47^\circ$$

$$x = 56^\circ$$



[問題]

右の図のように、 $\angle A=37^\circ$, $\angle E=20^\circ$,
 $\angle CFD=97^\circ$ の図形がある。 $\angle x$ の大きさを求めよ。
 (長野県)(**)



[解答欄]

[解答] 40°

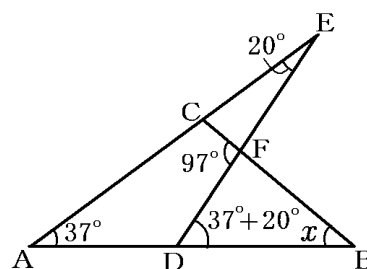
[解説]

三角形の外角は、そのとなりにない2つの内角の和に等しいので、

$$x + (37^\circ + 20^\circ) = 97^\circ$$

$$x = 97^\circ - 37^\circ - 20^\circ$$

$$x = 40^\circ$$

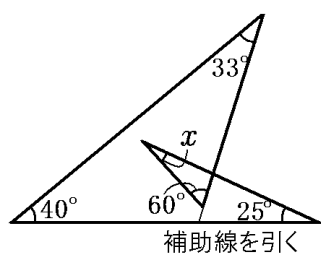
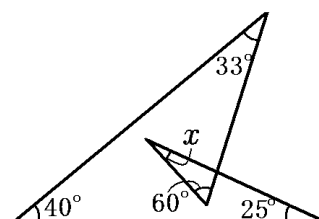


[問題]

右の図で、 $\angle x$ の大きさを求めよ。
 (宮崎県)(***)

[解答欄]

[ヒント]



[解答] 22°

[解説]

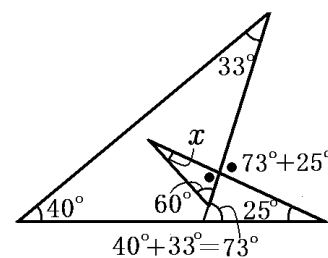
三角形の外角は、そのとなりにない2つの内角の和に等しい。

また、三角形の内角の和は 180° なので、

$$x + 60^\circ + (73^\circ + 25^\circ) = 180^\circ$$

$$x + 158^\circ = 180^\circ$$

$$x = 22^\circ$$



[角の二等分線]

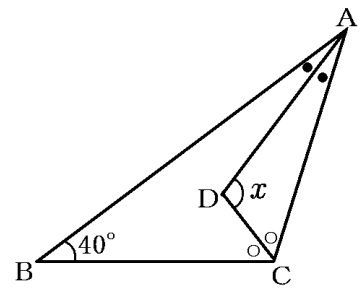
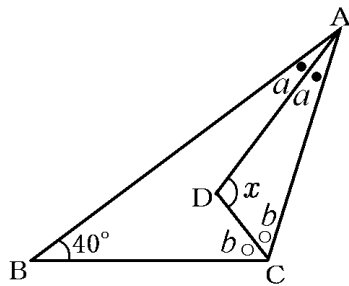
[問題]

図の $\triangle ABC$ において、 $\angle A$ の二等分線と $\angle C$ の二等分線の交点を D とする。 $\angle ABC=40^\circ$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(沖縄県)**

[解答欄]

[ヒント]



[解答] 110°

[解説]

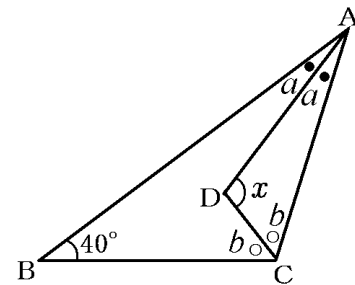
三角形の内角の和は 180° なので、

$$2a + 2b + 40^\circ = 180^\circ, \quad 2a + 2b = 140^\circ, \quad a + b = 70^\circ$$

$\triangle ACD$ で、 $x + a + b = 180^\circ$

$$a + b = 70^\circ \text{ なので、 } x + 70^\circ = 180^\circ$$

よって、 $x = 110^\circ$



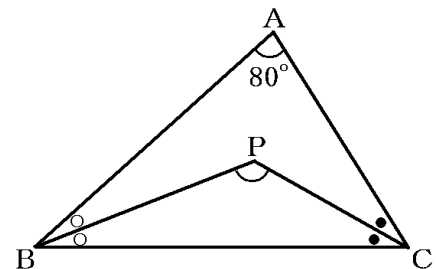
[問題]

右の図のように、 $\triangle ABC$ があり、 $\angle A=80^\circ$ となっている。 $\angle B$ と $\angle C$ の二等分線の交点を P とするとき、 $\angle BPC$ の大きさを求めよ。

(岩手県)**

[解答欄]

[解答] 130°



[解説]

三角形の内角の和は 180° なので、

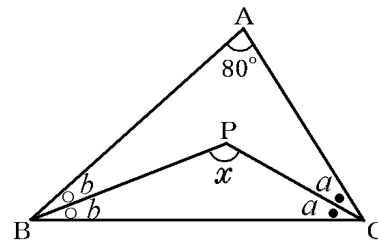
$$2a + 2b + 80^\circ = 180^\circ, \quad 2a + 2b = 100^\circ, \quad a + b = 50^\circ$$

$\triangle PBC$ で、 $x + a + b = 180^\circ$

$a + b = 50^\circ$ なので、

$$x + 50^\circ = 180^\circ$$

$$x = 130^\circ$$



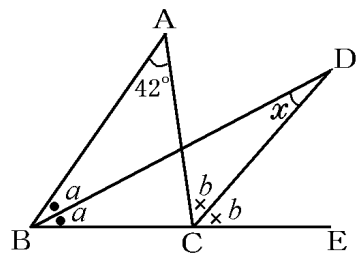
[問題]

右の図のように、 $\triangle ABC$ で BC を延長した直線上の点を E とする。 $\angle B$ の二等分線と $\angle ACE$ の二等分線の交点を D とするとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(青森県)**

[解答欄]

[ヒント]



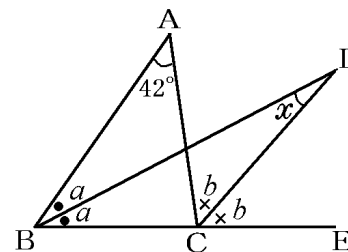
[解答] 21°

[解説]

$\triangle DBC$ で、 $x + a = b, \quad x = b - a$

$\triangle ABC$ で、 $42 + 2a = 2b, \quad 2b - 2a = 42, \quad b - a = 21$

よって、 $x = b - a = 21^\circ$

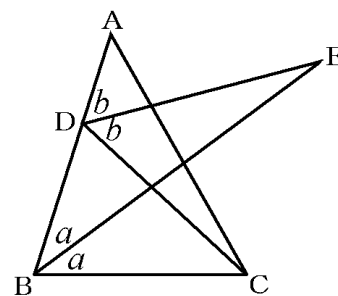


[問題]

右の図のように、 $\triangle ABC$ の辺 AB 上に点 D がある。
 $\angle ABC$ の二等分線と $\angle ADC$ の二等分線の交点を E とする。このとき、 $\angle BCD = 2\angle BED$ となる。

このわけを、 $\angle ABE = a$ 、 $\angle ADE = b$ として、 a 、 b を使った式を用いて説明せよ。

(広島県)(***)



[解答欄]

[解答]

$\triangle BCD$ において、三角形の外角は、そのとなりにない 2 つの内角の和に等しいので、

$$\angle BCD + 2a = 2b$$

$$\angle BCD = 2b - 2a = 2(b - a) \cdots \textcircled{1}$$

同様に、 $\triangle BED$ において、

$$\angle BED + a = b$$

$$\angle BED = b - a \cdots \textcircled{2}$$

$$\textcircled{1}, \textcircled{2} \text{より}, \angle BCD = 2\angle BED$$

【】二等辺三角形・正三角形

[二等辺三角形]

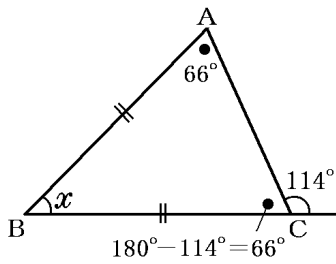
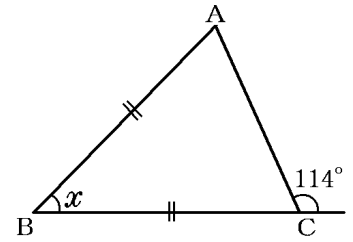
[問題]

右の図のような、 $BA=BC$ の二等辺三角形 ABC がある。
このとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(山梨県)(**)

[解答欄]

[ヒント]



[解答] 48°

[解説]

$$\angle BCA = 180^\circ - 114^\circ = 66^\circ$$

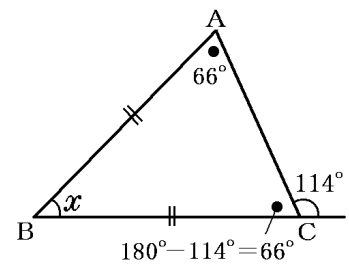
二等辺三角形の底角は等しいので、

$$\angle BAC = \angle BCA = 66^\circ$$

三角形の内角の和は 180° なので

$$x + 66^\circ + 66^\circ = 180^\circ$$

$$x = 180^\circ - 132^\circ = 48^\circ$$



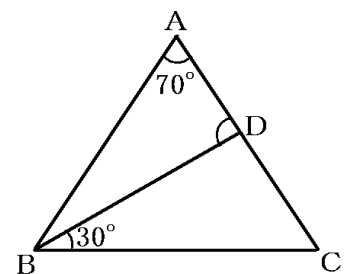
[問題]

右の図のような、 $AB=AC$ の二等辺三角形 ABC があり、
点 D は辺 AC 上の点である。 $\angle BAC = 70^\circ$, $\angle DBC = 30^\circ$
であるとき、 $\angle ADB$ の大きさは何度か。

(香川県)(**)

[解答欄]

[解答] 85°



[解説]

二等辺三角形の底角は等しいので、 $\angle B = \angle C$

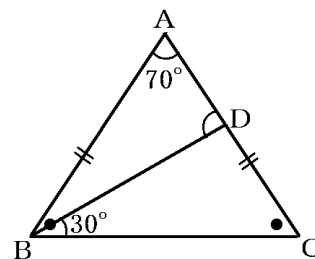
$$\angle B + \angle C + 70^\circ = 180^\circ$$

$$\angle C + \angle C + 70^\circ = 180^\circ$$

$$2\angle C = 110^\circ, \angle C = 55^\circ$$

$\triangle BCD$ で、三角形の外角は、そのとなりにない 2 つの内角の和に等しいので、

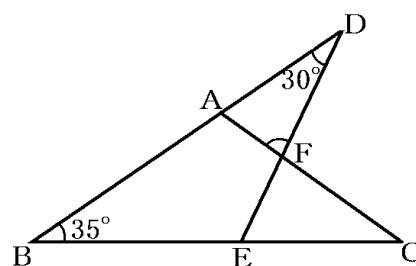
$$\angle ADB = 30^\circ + \angle C = 30^\circ + 55^\circ = 85^\circ$$



[問題]

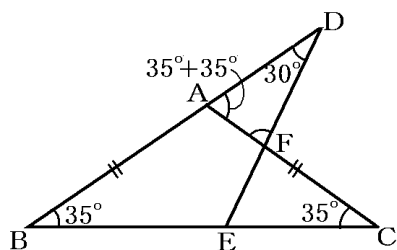
右の図のような、 $AB=AC$ の二等辺三角形 ABC があり、辺 BA を A の方に延長した直線上に点 D をとり、辺 BC 上に点 E をとり、線分 DE と辺 AC との交点を F とする。 $\angle ABC = 35^\circ$ 、 $\angle ADF = 30^\circ$ であるとき、 $\angle AFD$ の大きさは何度か。

(香川県)**



[解答欄]

[ヒント]



[解答] 80°

[解説]

二等辺三角形の底角は等しいので、 $\angle C = \angle B = 35^\circ$

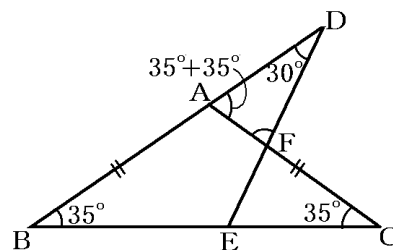
$\triangle ABC$ で、三角形の外角は、そのとなりにない 2 つの内角の和に等しいので、

$$\angle DAF = \angle B + \angle C = 35^\circ + 35^\circ = 70^\circ$$

$\triangle ADF$ で、三角形の内角の和は 180° なので、

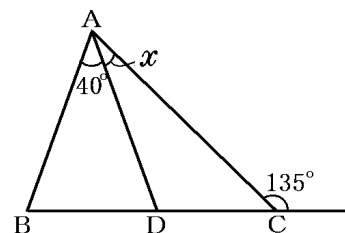
$$\angle AFD + 70^\circ + 30^\circ = 180^\circ$$

$$\angle AFD = 180^\circ - (70^\circ + 30^\circ) = 80^\circ$$



[問題]

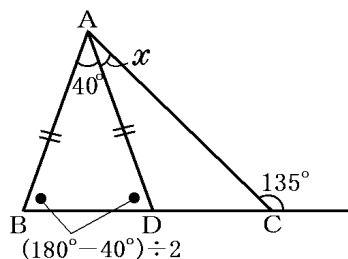
右の図のように、 $\triangle ABC$ の頂点 C における外角の大きさが 135° であり、辺 BC 上に $AB=AD$ となる点 D をとると、 $\angle BAD=40^\circ$ となった。このとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。



(山口県)**

[解答欄]

[ヒント]



[解答] 25°

[解説]

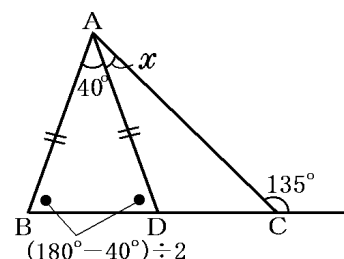
二等辺三角形の底角は等しいので、

$$\angle ABD = \angle ADB = (180^\circ - 40^\circ) \div 2 = 70^\circ$$

$\triangle ABC$ で、三角形の外角は、そのとなりにない 2 つの内角の

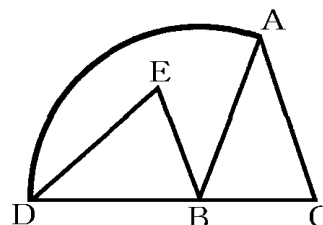
$$\text{和に等しいので、} 70^\circ + (40^\circ + x) = 135^\circ$$

$$x = 135^\circ - 70^\circ - 40^\circ = 25^\circ$$



[問題]

$AB=AC=12\text{cm}$ 、 $\angle BAC=40^\circ$ の $\triangle ABC$ がある。右の図の $\triangle DBE$ は、 $\triangle ABC$ を、点 B を回転の中心として反時計まわりに回転移動させてできたもので、3 点 D 、 B 、 C は一直線上にある。図の太い線で示した部分は、点 A が点 D まで動いたあとにできる線を表している。次の各問いに答えよ。



(1) $\angle CBE$ の大きさを求めよ。

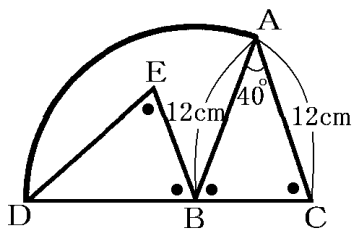
(2) 図の太い線で示した、点 A が点 D まで動いたあとにできる線の長さを求めよ。ただし、円周率を π とする。

(宮城県)**

[解答欄]

| | |
|-----|-----|
| (1) | (2) |
|-----|-----|

[ヒント]



[解答](1) 110° (2) $\frac{22}{3}\pi$ cm

[解説]

(1) 二等辺三角形の底角は等しいので、右図の「●」をつけた角(a)はすべて等しい。

$\triangle ABC$ で三角形の内角の和は 180° なので、

$$40^\circ + a + a = 180^\circ, \quad 2a = 140^\circ, \quad a = 70^\circ$$

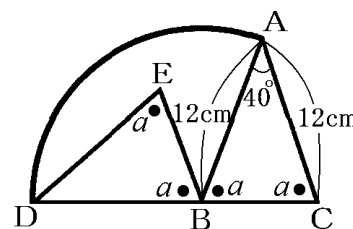
$$\text{また, } \angle ABE = 180^\circ - 2a = 180^\circ - 140^\circ = 40^\circ$$

$$\text{よって, } \angle CBE = a + \angle ABE = 70^\circ + 40^\circ = 110^\circ$$

(2) まず、おうぎ形 BAD の中心角 $\angle ABD$ を求める。

$$\angle ABD = a + \angle ABE = 70^\circ + 40^\circ = 110^\circ$$

$$\text{よって, (弧 AD の長さ)} = 2 \times \pi \times 12 \times \frac{110}{360} = \frac{22}{3}\pi \text{ (cm)}$$

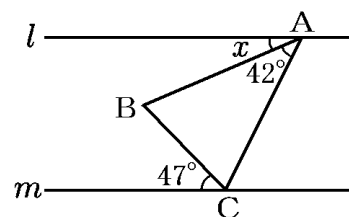


[問題]

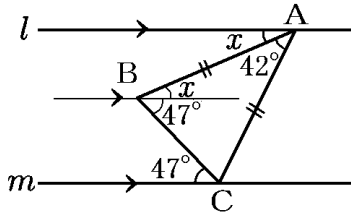
右の図のように、 $AB=AC$ である二等辺三角形 ABC と、頂点 A, C をそれぞれ通る 2 本の平行な直線 l, m がある。このとき、 $\angle x$ の大きさは何度か。

(鹿児島県)**

[解答欄]



[ヒント]



[解答]22°

[解説]

点 B を通る平行線を引くと、角は右図のようになる。

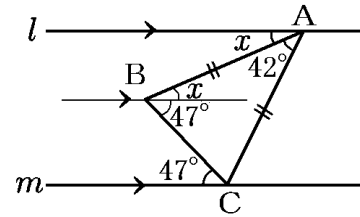
$\triangle ABC$ は二等辺三角形なので、

$$\angle C = \angle B = x + 47 (^{\circ})$$

三角形の内角の和は 180° なので、

$$42 + (x + 47) + (x + 47) = 180$$

$$2x + 136 = 180, \quad 2x = 44, \quad x = 22 (^{\circ})$$



[問題]

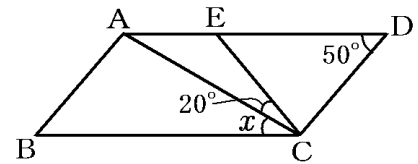
右の図のように、 $\angle ADC = 50^{\circ}$ の平行四辺形 ABCD が

ある。辺 AD 上に $CD = CE$ となるように点 E をとる。

$\angle ACE = 20^{\circ}$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。ただし、

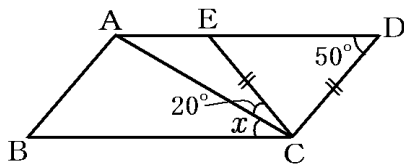
$AB < AD$ とする。

(和歌山県)(**)



[解答欄]

[ヒント]



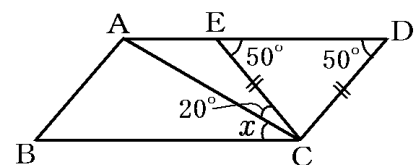
[解答]30°

[解説]

右図で、平行線の錯角は等しいので、

$$x + 20 = 50$$

よって、 $x = 30 (^{\circ})$



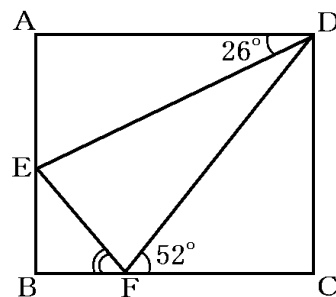
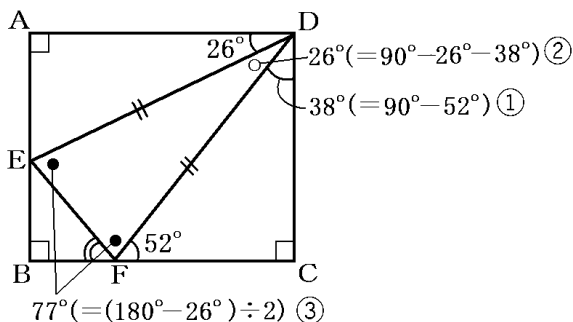
[問題]

右の図で、四角形 ABCD は長方形、E、F はそれぞれ辺 AB、BC 上の点で、 $DE=DF$ である。 $\angle ADE=26^\circ$ 、 $\angle DFC=52^\circ$ のとき、 $\angle EFB$ の大きさを求めよ。

(愛知県)**

[解答欄]

[ヒント]



[解答] 51°

[解説]

$\triangle DCF$ で、

$$\angle CDF = 180^\circ - 90^\circ - 52^\circ = 38^\circ$$

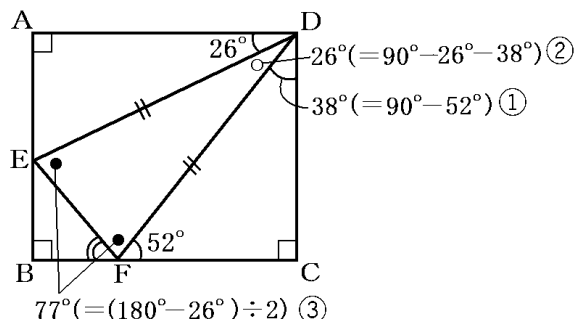
$$\angle EDF = 90^\circ - 26^\circ - 38^\circ = 26^\circ$$

$\triangle DEF$ は二等辺三角形なので、

$$\angle DFE = \angle DEF = (180^\circ - 26^\circ) \div 2 = 77^\circ$$

したがって、

$$\angle EFB = 180^\circ - 77^\circ - 52^\circ = 51^\circ$$



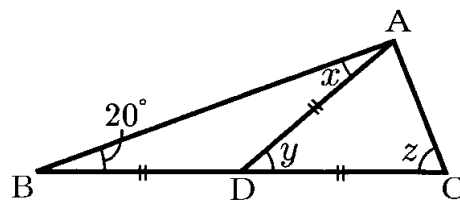
[問題]

右の図で $AD=BD=CD$ のとき、 $\angle x$ 、 $\angle y$ 、 $\angle z$ の大きさを求めよ。

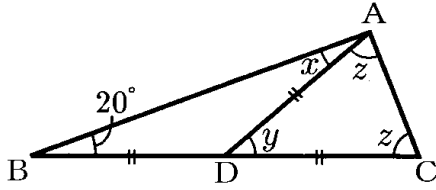
(福井県)

[解答欄]

| | | |
|--------------|--------------|--------------|
| $\angle x =$ | $\angle y =$ | $\angle z =$ |
|--------------|--------------|--------------|



[ヒント]



[解答] $\angle x = 20^\circ$ $\angle y = 40^\circ$ $\angle z = 70^\circ$

[解説]

$\triangle DAB$ は二等辺三角形なので, $x = 20^\circ$

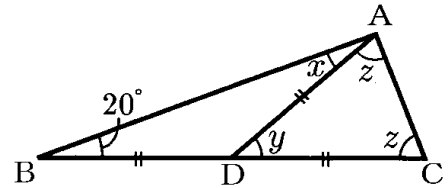
$\triangle DAB$ で y は $\angle ADB$ の外角なので,

$$y = x + 20 = 20 + 20 = 40^\circ$$

$\triangle DAC$ は二等辺三角形なので, $\angle DAC = \angle DCA = z$

$\triangle DAC$ で, 三角形の内角の和は 180° なので,

$$y + z + z = 180, \quad 40 + 2z = 180, \quad 2z = 140, \quad z = 70^\circ$$

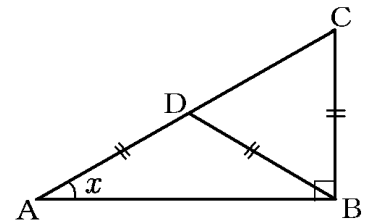


[問題]

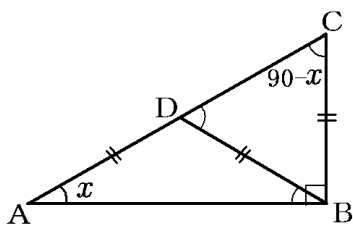
右の図のように, $\angle B = 90^\circ$ である直角三角形 ABC がある。
 $DA = DB = BC$ となるような点 D が辺 AC 上にあるとき, $\angle x$ の大きさを求めよ。

(富山県)

[解答欄]



[ヒント]



[解答] 30°

[解説]

$\triangle DAB$ は二等辺三角形なので, $\angle DBA = \angle DAB = x$

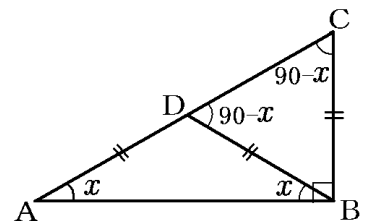
$\triangle ABC$ は直角三角形なので,

$$\angle ACB = 180 - 90 - x = 90 - x$$

$\triangle BCD$ は二等辺三角形なので, $\angle BDC = \angle BCD = 90 - x$

$\triangle DAB$ で外角は他の2つの内角の和に等しいので,

$$90 - x = x + x, \quad 3x = 90, \quad x = 30^\circ$$



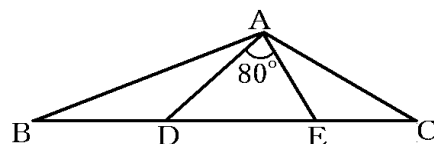
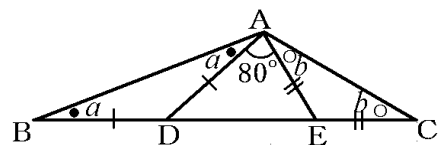
[問題]

右の図で、 $\angle DAE=80^\circ$, $AD=BD$, $AE=CE$ のとき、 $\angle BAC$ の大きさを求めよ。

(青森県)**

[解答欄]

[ヒント]

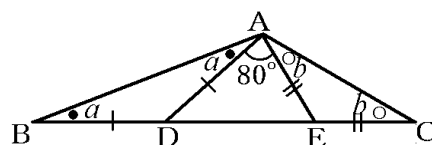


[解答] 130°

[解説]

$\triangle DAB$, $\triangle EAC$ は二等辺三角形なので、
 $\angle DAB = \angle DBA = a$, $\angle EAC = \angle ECA = b$
 とおくことができる。

$\triangle ABC$ で、三角形の内角の和は 180° なので、
 $a + b + (a + 80^\circ + b) = 180^\circ$, $2a + 2b = 100^\circ$, $a + b = 50^\circ$
 $\angle BAC = a + b + 80^\circ = 50^\circ + 80^\circ = 130^\circ$



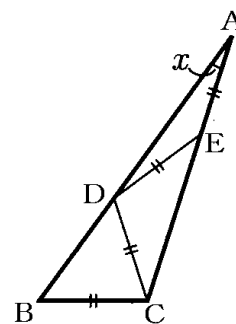
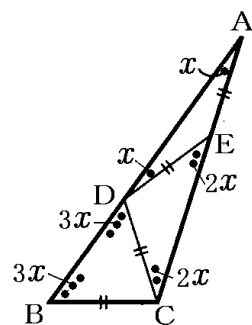
[問題]

右の図のように、 $\triangle ABC$ において、 $\angle ACB=108^\circ$ で、
 $BC=CD=DE=EA$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(大分県)**

[解答欄]

[ヒント]



[解答] 18°

[解説]

「三角形の外角は、そのとなりにない2つの内角の和に等しい」、
 「二等辺三角形の底角は等しい」を使って考えていく。

$\triangle ADE$ で、 $\angle EDA = \angle EAD = x$

$\angle DEC = \angle EDA + \angle EAD = x + x = 2x$

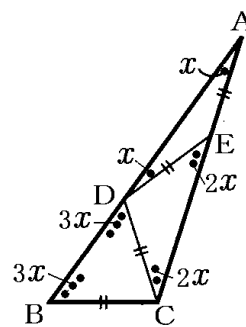
$\triangle DCE$ で、 $\angle DCE = \angle DEC = 2x$

$\triangle ACD$ で、 $\angle BDC = \angle EAD + \angle DCE = x + 2x = 3x$

$\triangle CBD$ で、 $\angle DBC = \angle BDC = 3x$

$\triangle ABC$ で、 $\angle BAC + \angle ABC + \angle ACB = 180^\circ$

$x + 3x + 108^\circ = 180^\circ$, $4x = 72^\circ$, $x = 18^\circ$



[正三角形]

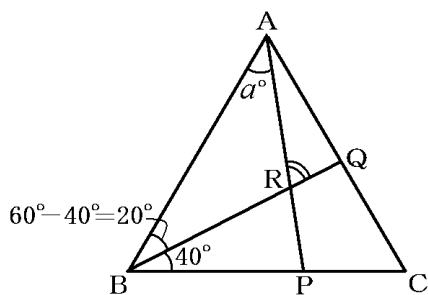
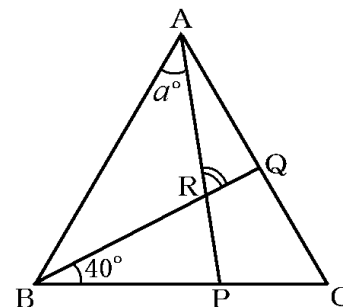
[問題]

右の図の $\triangle ABC$ は正三角形である。 $\angle CBQ = 40^\circ$,
 $\angle BAP = a^\circ$ とするとき、 $\angle ARQ$ の大きさを a を
 用いた式で表せ。

(東京都)**

[解答欄]

[ヒント]



[解答] $a + 20^\circ$)

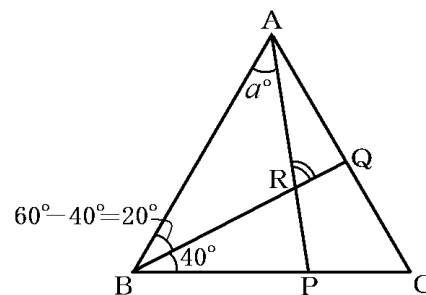
[解説]

$\triangle ABC$ は正三角形であるので、内角はすべて等しく、
 $180^\circ \div 3 = 60^\circ$ である。

したがって、 $\angle ABR = 60^\circ - 40^\circ = 20^\circ$

$\triangle ABR$ で、三角形の外角は、そのとなりにない2つの内
 角の和に等しいので、

$\angle ARQ = \angle BAR + \angle ABR = a^\circ + 20^\circ = a + 20^\circ$)



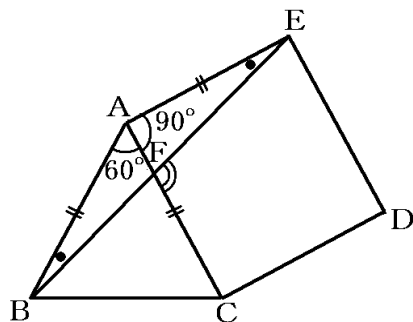
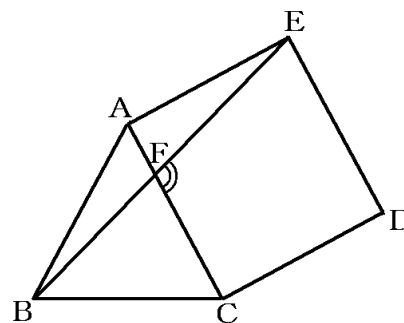
[問題]

右の図で、 $\triangle ABC$ は正三角形、四角形 $ACDE$ は正方形、 F は線分 AC と EB との交点である。このとき、 $\angle EFC$ の大きさは何度か。

(愛知県)**

[解答欄]

[ヒント]



[解答] 105°

[解説]

$$\angle BAE = 60^\circ + 90^\circ = 150^\circ$$

$AB = AC$, $AC = AE$ なので、 $AB = AE$

よって、 $\triangle ABE$ は二等辺三角形なので、 $\angle ABE = \angle AEB$

$$\angle ABE + \angle AEB + 150^\circ = 180^\circ,$$

$$2\angle ABE + 150^\circ = 180^\circ,$$

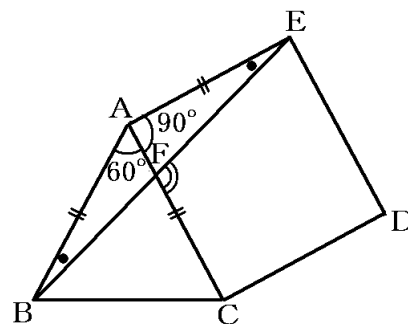
$$2\angle ABE = 30^\circ, \angle ABE = 15^\circ$$

$\triangle ABF$ で三角形の内角の和は 180° なので、

$$\angle BAF + \angle ABE + \angle AFB = 180^\circ, 60^\circ + 15^\circ + \angle AFB = 180^\circ$$

$$\text{よって、} \angle AFB = 180^\circ - 60^\circ - 15^\circ = 105^\circ$$

対頂角は等しいので、 $\angle EFC = \angle AFB = 105^\circ$



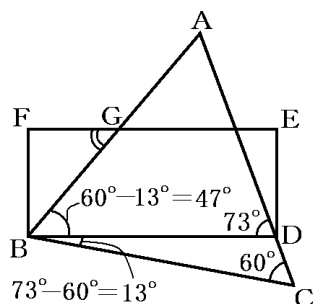
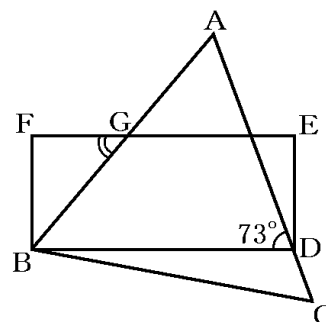
[問題]

右の図のように、正三角形 ABC の AC 上に点 D をとり、
 長方形 $BDEF$ をつくる。 EF と AB の交点を G とする。
 $\angle ADB = 73^\circ$ であるとき、 $\angle FGB$ の大きさを求めよ。

(青森県)**

[解答欄]

[ヒント]



[解答] 47°

[解説]

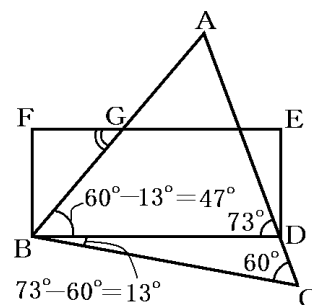
$\triangle BCD$ で、三角形の外角は、そのとなりにない 2 つの内角の和に等しいので、
 $\angle CBD + \angle BCD = \angle ADB$

$$\angle CBD + 60^\circ = 73^\circ, \quad \angle CBD = 73 - 60^\circ = 13^\circ$$

$$\angle ABD = \angle ABC - \angle CBD = 60^\circ - 13^\circ = 47^\circ$$

$FE \parallel BD$ で、平行線の錯角は等しいので、

$$\angle FGB = \angle ABD = 47^\circ$$

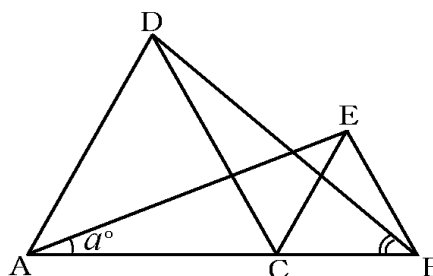


[問題]

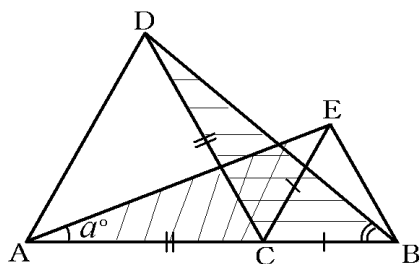
右の図で、点 C は線分 AB 上の点であり、 $\triangle DAC$ と $\triangle ECB$ は、それぞれ線分 AC と線分 CB を 1 辺とする正三角形である。
 $\angle EAC = a^\circ$ とするとき、
 $\angle DBC$ の大きさを a を用いた式で表せ。

(秋田県)****

[解答欄]



[ヒント]



[解答] $60 - a^\circ$

[解説]

$\angle DBC$ は通常の方法では求められない。

$\triangle AEC \equiv \triangle DBC$ に気付くかどうかポイント。

$\triangle AEC$ と $\triangle DBC$ で、

$$AC = DC \cdots \textcircled{1}$$

$$CE = CB \cdots \textcircled{2}$$

$$\angle ACE = 60^\circ + \angle DCE = \angle DCB \cdots \textcircled{3}$$

①, ②, ③から、2組の辺とその間の角が、それぞれ等しいので、 $\triangle AEC \equiv \triangle DBC$

合同な図形では、対応する角は等しいので、 $\angle AEC = \angle DBC$

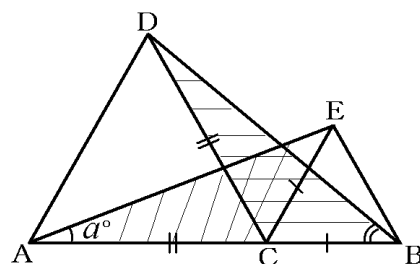
そこで、 $\angle AEC$ を求める。

$\triangle AEC$ で、三角形の外角は、そのとなりにない2つの内角の和に等しいので、

$$\angle EAC + \angle AEC = \angle ECB$$

$$a^\circ + \angle AEC = 60^\circ, \quad \angle AEC = 60^\circ - a^\circ = 60 - a^\circ$$

よって、 $\angle DBC = 60 - a^\circ$



【】 平行四辺形と角

[向かいあう角]

[問題]

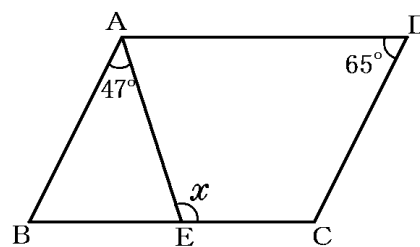
右の図において、四角形 ABCD は平行四辺形である。
∠ x の大きさを求めよ。

(栃木県)(*)

[解答欄]

[ヒント]

平行四辺形の向かいあう角は等しい。



[解答]112°

[解説]

平行四辺形の向かいあう角は等しいので、 $\angle ABE = \angle ADC = 65^\circ$

$\triangle ABE$ で、三角形の外角は、そのとなりにない 2 つの内角の和に等しいので、

$$x = \angle BAE + \angle ABE = 47^\circ + 65^\circ = 112^\circ$$

[問題]

右の図で、四角形 ABCD は平行四辺形である。
 x の値を求めよ。

(岐阜県)(*)

[解答欄]

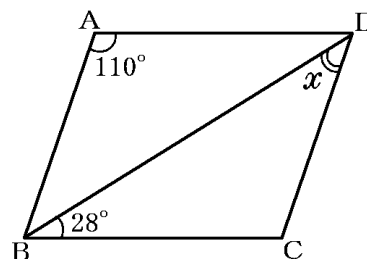
[解答]42°

[解説]

平行四辺形の向かいあう角は等しいので、 $\angle BCD = \angle BAD = 110^\circ$

三角形の内角の和は 180° なので、

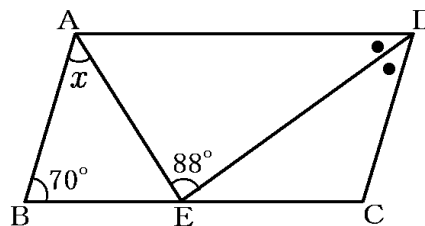
$$x + 28^\circ + \angle BCD = 180^\circ, \quad x + 28^\circ + 110^\circ = 180^\circ, \quad x = 180^\circ - 28^\circ - 110^\circ = 42^\circ$$



[問題]

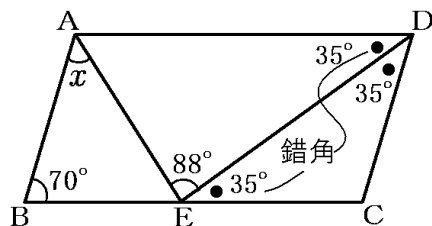
右の図において、四角形 ABCD は $\angle ABC = 70^\circ$ の平行四角形であり、点 E は辺 BC 上の点である。
 $\angle ADE = \angle CDE$, $\angle AED = 88^\circ$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(秋田県)**



[解答欄]

[ヒント]



[解答] 53°

[解説]

平行四角形の向かいあう角は等しいので、

$$\angle ADC = \angle ABC = 70^\circ$$

$$\angle ADE = \frac{1}{2} \angle ADC = \frac{1}{2} \times 70^\circ = 35^\circ$$

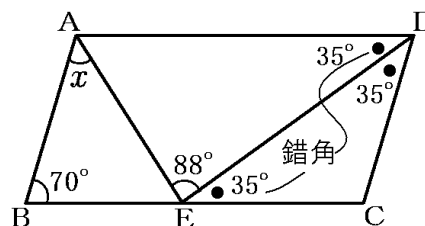
AD // BC で、平行線の錯角は等しいので、

$$\angle CED = \angle ADE = 35^\circ$$

$$\text{よって、} \angle AEC = 88^\circ + 35^\circ = 123^\circ$$

$\triangle ABE$ で、三角形の外角は、そのとなりにない 2 つの内角の和に等しいので、

$$x + 70^\circ = 123^\circ, \quad x = 123^\circ - 70^\circ = 53^\circ$$

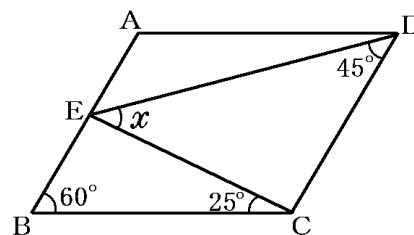


[問題]

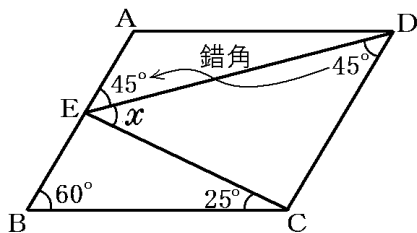
右の図のように、平行四角形 ABCD において、
 $\angle ABC = 60^\circ$, $\angle BCE = 25^\circ$, $\angle CDE = 45^\circ$ のとき、
 $\angle CED = \angle x$ として、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(大分県)**

[解答欄]



[ヒント]



[解答]40°

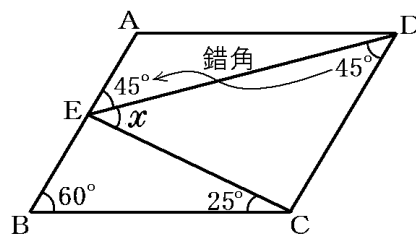
[解説]

AB // DC で平行線の錯角は等しいので、

$$\angle AED = \angle CDE = 45^\circ$$

△BCE で、三角形の外角は、そのとなりにない2つの内角の和に等しいので、

$$x + 45^\circ = 60^\circ + 25^\circ, \quad x = 60^\circ + 25^\circ - 45^\circ = 40^\circ$$



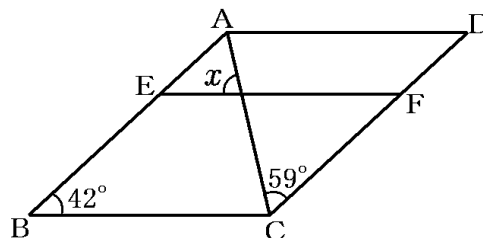
[問題]

右の図で、四角形 ABCD は平行四辺形である。

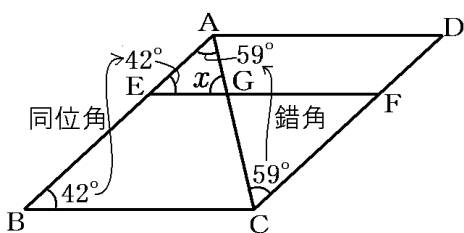
EF // AD のとき、∠x の大きさを求めよ。

(岩手県)(**)

[解答欄]



[ヒント]



[解答]79°

[解説]

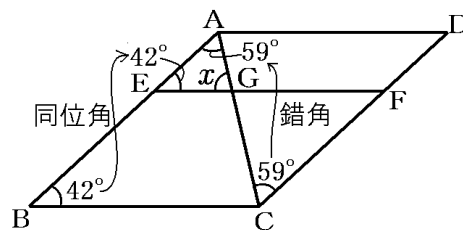
EF // BC で平行線の同位角は等しいので、 $\angle AEG = 42^\circ$

AB // DC で平行線の錯角は等しいので、 $\angle EAG = 59^\circ$

△AEG で、三角形の内角の和は 180° なので、

$$x + 42^\circ + 59^\circ = 180^\circ,$$

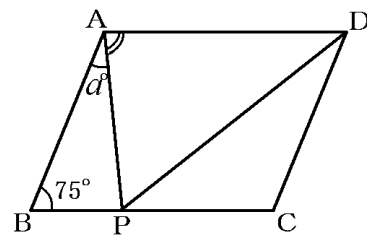
$$x = 180^\circ - 42^\circ - 59^\circ = 79^\circ$$



[問題]

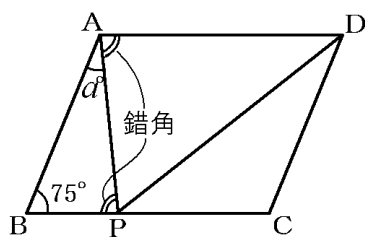
右の図で、四角形 ABCD は、 $\angle ABC$ が鋭角の平行四辺形である。 $\angle ABC = 75^\circ$ 、 $\triangle ABP$ の内角である $\angle BAP$ の大きさを a° とするとき、 $\triangle APD$ の内角である $\angle PAD$ の大きさを a を用いた式で表せ。

(東京都)**



[解答欄]

[ヒント]



[解答] $105 - a^\circ$)

[解説]

AD // BC で平行線の錯角は等しいので、

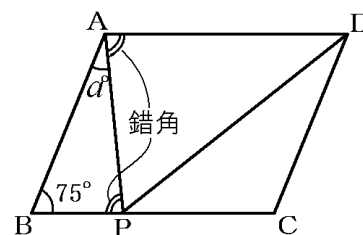
$$\angle APB = \angle PAD \cdots \textcircled{1}$$

$\triangle ABP$ で三角形の内角の和は 180° なので、

$$\angle APB + 75^\circ + a^\circ = 180^\circ$$

$$\angle APB = 105 - a^\circ \cdots \textcircled{2}$$

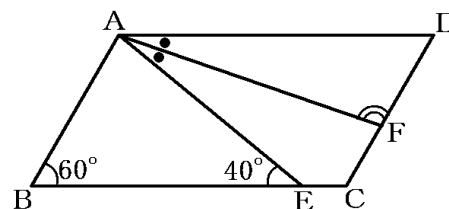
①、②より、 $\angle PAD = 105 - a^\circ$)



[問題]

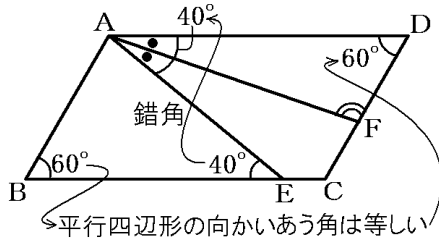
右の図のように、 $\angle ABC = 60^\circ$ の平行四辺形 ABCD がある。辺 BC 上に $\angle AEB = 40^\circ$ となるように点 E をとり、 $\angle DAE$ の二等分線と辺 CD との交点を F とする。 $\angle AFD$ の大きさを求めよ。

(徳島県)**



[解答欄]

[ヒント]



[解答]100°

[解説]

平行線の錯角は等しいので、 $\angle DAE = \angle AEB = 40^\circ$

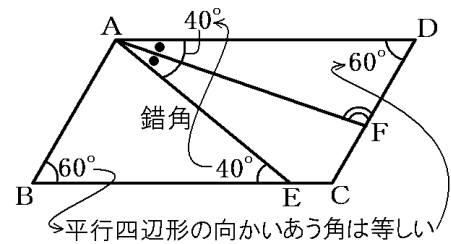
$$\angle DAF = \frac{1}{2} \angle DAE = \frac{1}{2} \times 40^\circ = 20^\circ$$

平行四辺形の向かいあう角は等しいので、

$$\angle ADF = \angle ABC = 60^\circ$$

$\triangle ADF$ で、三角形の内角の和は 180° なので、

$$\angle AFD + 60^\circ + 20^\circ = 180^\circ, \angle AFD = 180^\circ - 60^\circ - 20^\circ = 100^\circ$$



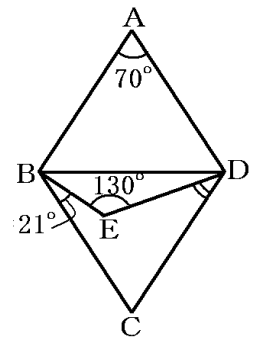
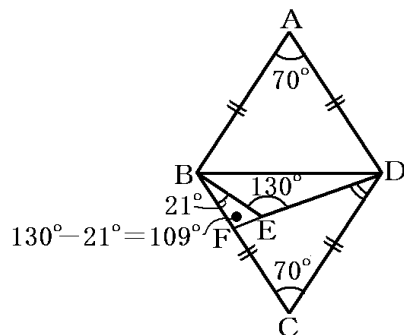
[問題]

右の図で、四角形 ABCD は $\angle A = 70^\circ$ のひし形である。点 E は三角形 BCD の内部にあり、三角形 BED において $\angle E = 130^\circ$ である。 $\angle CBE = 21^\circ$ のとき、 $\angle CDE$ の大きさは何° か。

(高知県)(**)

[解答欄]

[ヒント]



[解答]39°

[解説]

△BEF で、三角形の外角は、そのとなりにない 2 つの内角の和に等しいので、

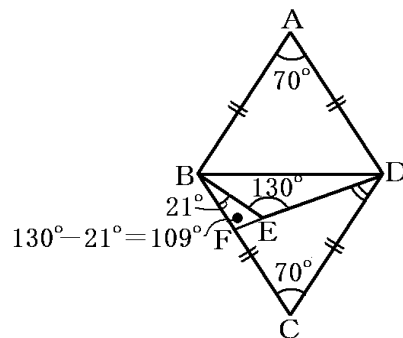
$$\angle BFE + 21^\circ = 130^\circ, \quad \angle BFE = 130^\circ - 21^\circ = 109^\circ$$

ひし形(平行四辺形の種類)の向かいあう角は等しいので、

$$\angle FCD = 70^\circ$$

△CDF で、三角形の外角は、そのとなりにない 2 つの内角の和に等しいので、 $\angle CDE + 70^\circ = 109^\circ$,

$$\angle CDE = 109^\circ - 70^\circ = 39^\circ$$



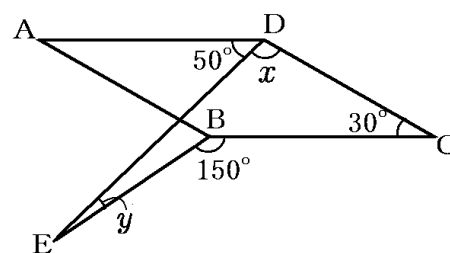
[問題]

右の図の四角形 ABCD は、平行四辺形である。

$\angle ADE = 50^\circ$, $\angle BCD = 30^\circ$, $\angle EBC = 150^\circ$ のとき、

$\angle x$, $\angle y$ の大きさをそれぞれ求めよ。

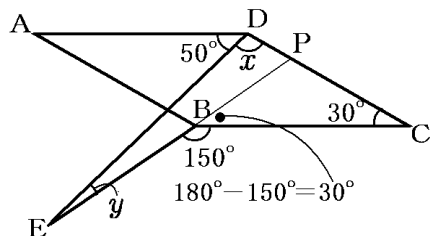
(石川県)(***)



[解答欄]

| | |
|--------------|--------------|
| $\angle x =$ | $\angle y =$ |
|--------------|--------------|

[ヒント]



[解答] $\angle x = 100^\circ$ $\angle y = 20^\circ$

[解説]

平行四辺形の同側内角の和は 180° なので、

$$(x + 50^\circ) + 30^\circ = 180^\circ$$

$$x = 180^\circ - 50^\circ - 30^\circ = 100^\circ$$

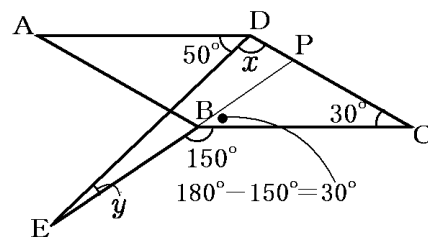
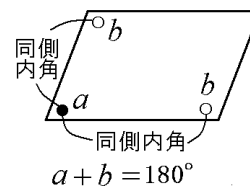
次に、EB を延長線と DC の交点を P とする。

$$\angle PBC = 180^\circ - 150^\circ = 30^\circ$$

$$\triangle PBC \text{ で、} \angle BPC = 180^\circ - 30^\circ - 30^\circ = 120^\circ$$

△DEP で、三角形の外角は、そのとなりにない 2 つの内角の和に等しいので、 $x + y = \angle BPC$, $100^\circ + y = 120^\circ$

$$y = 120^\circ - 100^\circ = 20^\circ$$



[平行四辺形+二等辺三角形]

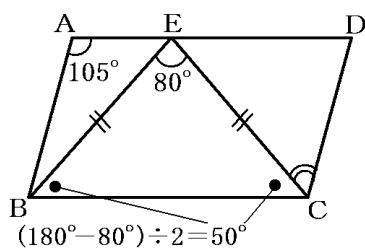
[問題]

右の図のような平行四辺形 ABCD があり、点 E は辺 AD 上の点で、 $EB=EC$ である。 $\angle BAD=105^\circ$ 、 $\angle BEC=80^\circ$ であるとき、 $\angle ECD$ の大きさは何度か。

(香川県)**

[解答欄]

[ヒント]



[解答] 55°

[解説]

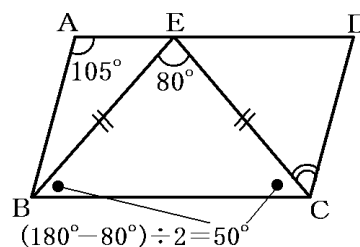
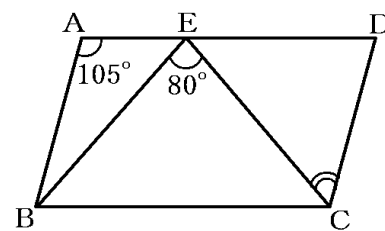
$\triangle BEC$ は二等辺三角形なので、

$$\angle ECB = \angle EBC = (180^\circ - 80^\circ) \div 2 = 50^\circ$$

平行四辺形の向かいあう角は等しいので、

$$\angle ECD + 50^\circ = 105^\circ$$

$$\angle ECD = 105^\circ - 50^\circ = 55^\circ$$

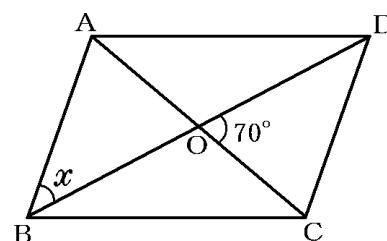


[問題]

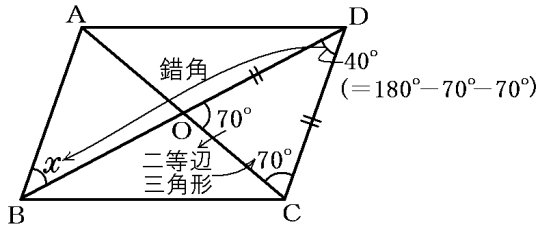
右の図は、平行四辺形 ABCD で、対角線 AC と対角線 BD の交点を O とする。 $DO=DC$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(鳥取県)**

[解答欄]



[ヒント]



[解答] 40°

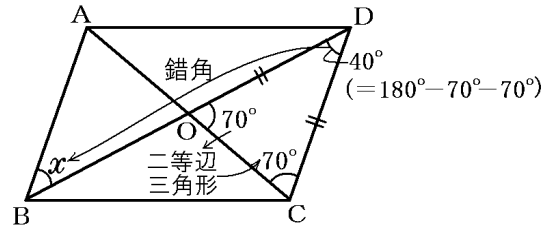
[解説]

二等辺三角形 DOC で、 $\angle DCO = \angle DOC = 70^\circ$

$\angle ODC = 180^\circ - 70^\circ - 70^\circ = 40^\circ$

$AB \parallel DC$ で平行線の錯角は等しいので、

$x = \angle ODC = 40^\circ$

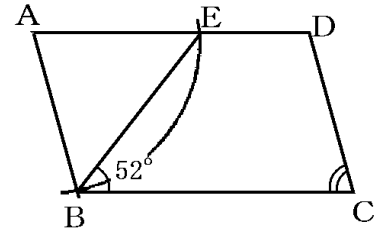


[問題]

右の平行四辺形 $ABCD$ で、点 A を中心、辺 AB を半径としてコンパスで円をかき、辺 AD との交点を E とする。

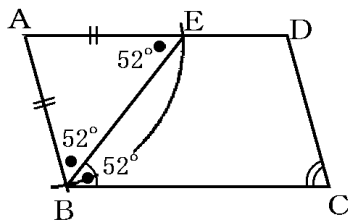
$\angle EBC = 52^\circ$ のとき、 $\angle DCB$ の大きさを求めよ。

(青森県)(**)



[解答欄]

[ヒント]



[解答] 76°

[解説]

同じ円の半径なので $AB = AE$ となり、 $\triangle ABE$ は二等辺三角形になる。よって、 $\angle ABE = \angle AEB$

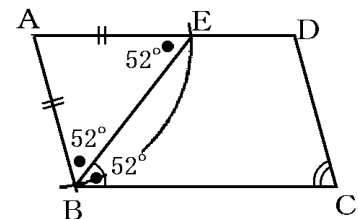
平行線の錯角は等しいので、 $\angle AEB = \angle EBC = 52^\circ$

したがって、 $\angle ABE = \angle AEB = \angle EBC = 52^\circ$

$\triangle ABE$ で、 $\angle BAE = 180^\circ - 52^\circ - 52^\circ = 76^\circ$

平行四辺形の向かいあう角は等しいので、

$\angle DCB = \angle BAE = 76^\circ$



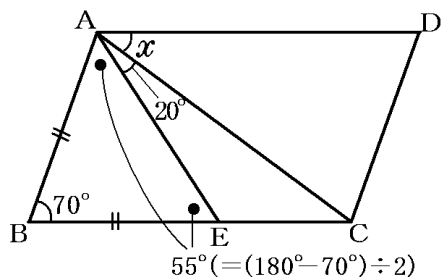
[問題]

右の図のように、平行四辺形 ABCD の
 辺 BC 上に点 E がある。BA=BE,
 $\angle ABE=70^\circ$, $\angle CAE=20^\circ$ のとき,
 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(石川県)**

[解答欄]

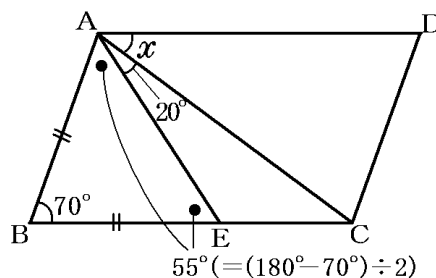
[ヒント]



[解答] 35°

[解説]

$\triangle BAE$ は二等辺三角形なので,
 $\angle BAE = \angle BEA = (180^\circ - 70^\circ) \div 2 = 55^\circ$
 平行線の同側内角の和は 180° なので,
 $\angle BAD + \angle ABC = 180^\circ$
 $(x + 20^\circ + 55^\circ) + 70^\circ = 180^\circ$,
 $x + 145^\circ = 180^\circ$
 $x = 180^\circ - 145^\circ = 35^\circ$

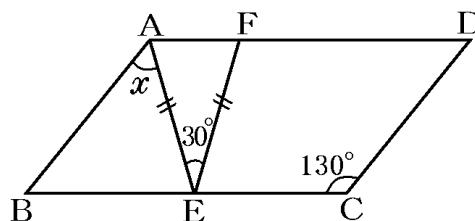


[問題]

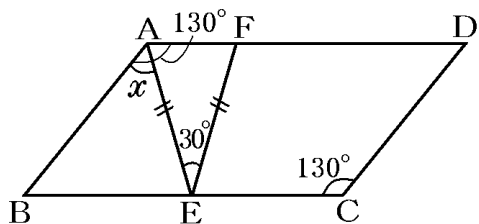
右図のような平行四辺形 ABCD において,
 辺 BC 上に点 E, 辺 AD 上に点 F を, $AE=EF$,
 $\angle AEF=30^\circ$ となるようにとる。 $\angle x$ の大きさを
 求めよ。

(島根県)**

[解答欄]



[ヒント]



[解答]55°

[解説]

平行四辺形の向かい合う角は等しいので、

$$\angle BAD = \angle BCD = 130^\circ$$

よって、 $\triangle EAF$ で $\angle EAF = 130^\circ - x$

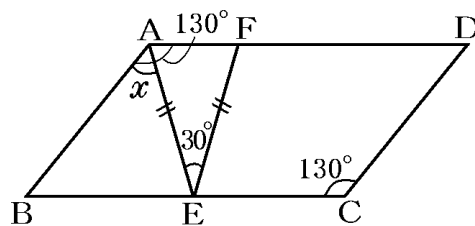
$\triangle EAF$ は二等辺三角形なので、

$$\angle EFA = \angle EAF = 130^\circ - x$$

$\triangle EAF$ で、三角形の内角の和は 180° なので、

$$(130^\circ - x) + (130^\circ - x) + 30^\circ = 180^\circ$$

$$290^\circ - 2x = 180^\circ, \quad -2x = -110^\circ, \quad x = 55^\circ$$



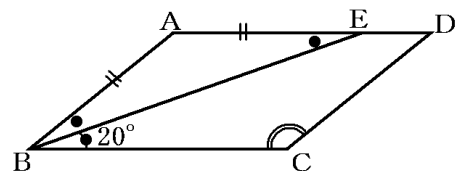
[問題]

平行四辺形 ABCD で、点 E は辺 AD 上にあり、
 $AB = AE$ である。 $\angle EBC = 20^\circ$ のとき、 $\angle BCD$ の
 大きさを求めよ。

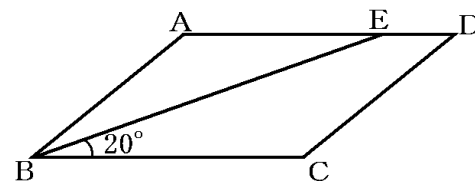
(秋田県)(**)

[解答欄]

[ヒント]



[解答]140°



[解説]

$\triangle ABE$ は二等辺三角形なので、 $\angle ABE = \angle AEB$

$AD \parallel BC$ で平行線の錯角は等しいので、

$$\angle AEB = \angle EBC = 20^\circ$$

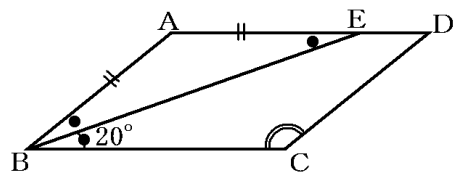
よって、 $\angle ABE = \angle AEB = \angle EBC = 20^\circ$

$\triangle ABE$ で、三角形の内角の和は 180° なので、

$$\angle BAE + 20^\circ + 20^\circ = 180^\circ, \quad \angle BAE = 180^\circ - 20^\circ - 20^\circ = 140^\circ$$

平行四辺形の向かいあう角は等しいので、

$$\angle BCD = \angle BAE = 140^\circ$$



[問題]

右の図で、四角形 $ABCD$ は、平行四辺形である。

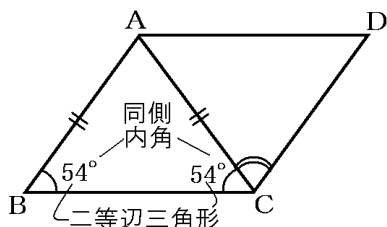
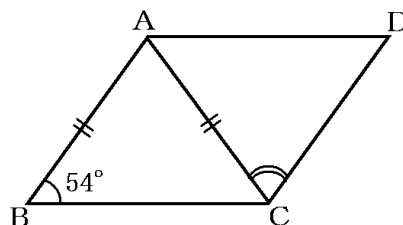
$AB=AC$ 、 $\angle ABC=54^\circ$ のとき、 $\angle ACD$ の大きさは

何度か。

(東京都)**

[解答欄]

[ヒント]



[解答] 72°

[解説]

$\triangle ABC$ は二等辺三角形なので、

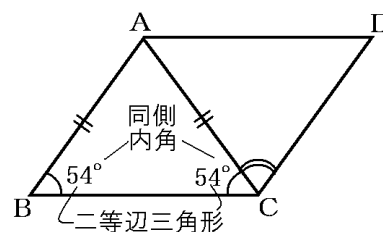
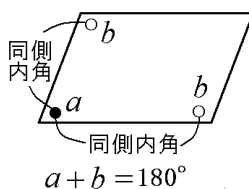
$$\angle ACB = \angle ABC = 54^\circ$$

平行線の同側内角の和は 180° なの

で、 $\angle BCD + \angle ABC = 180^\circ$

$$(\angle ACD + 54^\circ) + 54^\circ = 180^\circ$$

$$\angle ACD = 180^\circ - 54^\circ - 54^\circ = 72^\circ$$



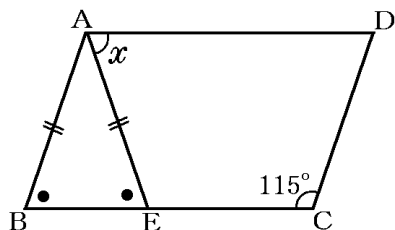
[問題]

右の図のように、平行四辺形 ABCD の辺 BC 上に $AB=AE$ となるように点 E をとる。 $\angle BCD=115^\circ$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(大分県)(**)

[解答欄]

[ヒント]



[解答] 65°

[解説]

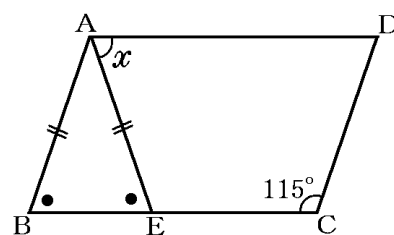
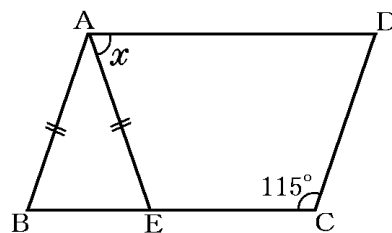
$\triangle ABE$ は二等辺三角形なので、 $\angle ABE = \angle AEB$

平行線の錯角は等しいので、 $x = \angle AEB$

ところで、平行四辺形の同側内角の和は 180° なので、

$\angle ABE + 115^\circ = 180^\circ$, $\angle ABE = 180^\circ - 115^\circ = 65^\circ$

以上より、 $x = \angle AEB = \angle ABE = 65^\circ$

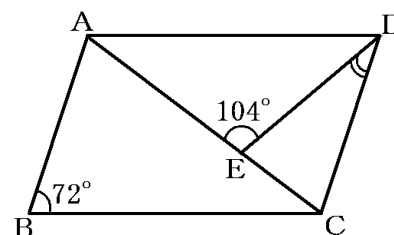


[問題]

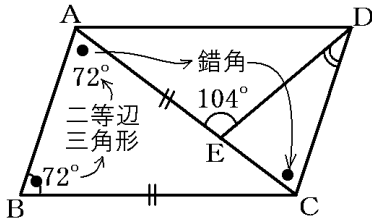
右の図のような平行四辺形 ABCD があり、 $CA=CB$ である。対角線 AC 上に、2 点 A, C と異なる点 E をとり、点 D と点 E を結ぶ。 $\angle ABC=72^\circ$, $\angle AED=104^\circ$ であるとき、 $\angle CDE$ の大きさは何度か。

(香川県)(**)

[解答欄]



[ヒント]



[解答]32°

[解説]

△CABは二等辺三角形なので、 $\angle BAC = \angle ABC = 72^\circ$

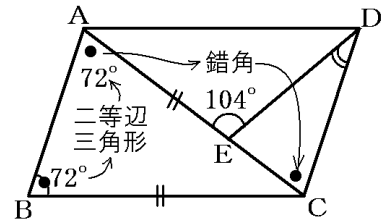
AB // DC で、平行線の錯角は等しいので、

$$\angle DCE = \angle BAC = 72^\circ$$

△CDE で、三角形の外角は、そのとなりにない 2 つの内角の和に等しいので、

$$\angle CDE + \angle DCE = 104^\circ, \quad \angle CDE + 72^\circ = 104^\circ$$

$$\angle CDE = 104^\circ - 72^\circ = 32^\circ$$

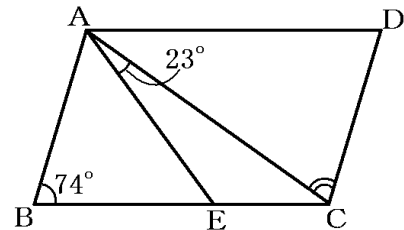


[問題]

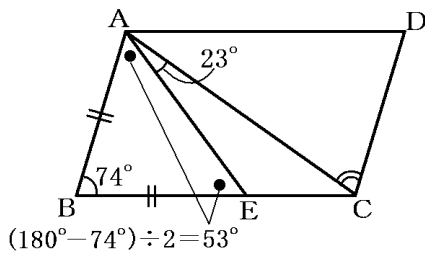
右の図で、四角形 ABCD は平行四辺形、E は辺 BC 上の点で、BA = BE である。 $\angle ABE = 74^\circ$, $\angle CAE = 23^\circ$ のとき、 $\angle ACD$ の大きさは何度か。

(愛知県)(**)

[解答欄]



[ヒント]



[解答]76°

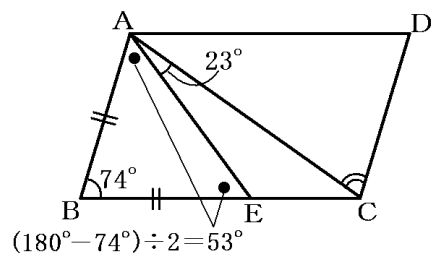
[解説]

$\triangle BAE$ は二等辺三角形なので、

$$\angle BAE = \angle BEA = (180^\circ - 74^\circ) \div 2 = 53^\circ$$

$AB \parallel DC$ で平行線の錯角は等しいので、

$$\begin{aligned} \angle ACD &= \angle BAC = \angle BAE + \angle CAE \\ &= 53^\circ + 23^\circ = 76^\circ \end{aligned}$$



[問題]

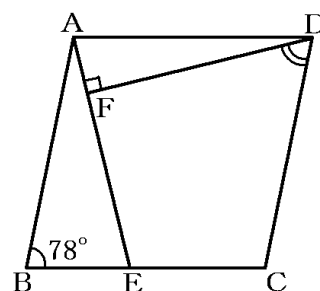
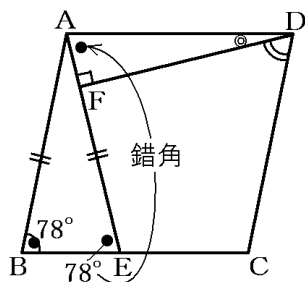
右の図のように、 $\angle ABC = 78^\circ$ のひし形 $ABCD$ がある。

辺 BC 上に $AB = AE$ となる点 E をとる。点 D から線分 AE に垂線をひき、線分 AE との交点を F とする。このとき、 $\angle FDC$ の大きさを求めよ。

(高知県)**

[解答欄]

[ヒント]



[解答] 66°

[解説]

$\triangle ABE$ は二等辺三角形なので、 $\angle AEB = \angle ABE = 78^\circ$

$AD \parallel BC$ で、平行線の錯角は等しいので、 $\angle DAF = \angle AEB = 78^\circ$

$\triangle ADF$ で、三角形の内角の和は 180° なので、

$$\angle DAF + 90^\circ + \angle ADF = 180^\circ$$

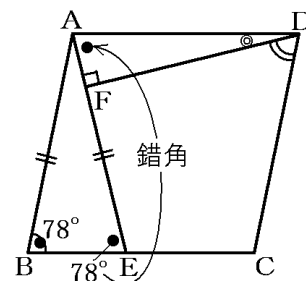
$$78^\circ + 90^\circ + \angle ADF = 180^\circ$$

$$\angle ADF = 180^\circ - 78^\circ - 90^\circ = 12^\circ$$

ひし形(平行四辺形の1つ)の向かいあう角は等しいので、

$$\angle ADF + \angle FDC = 78^\circ$$

$$12^\circ + \angle FDC = 78^\circ, \quad \angle FDC = 78^\circ - 12^\circ = 66^\circ$$



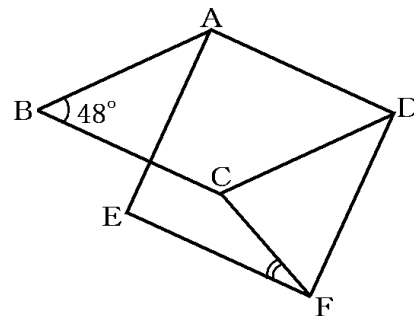
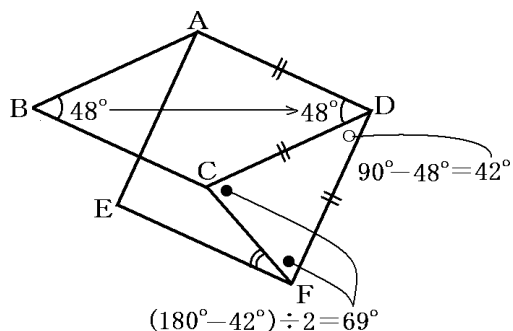
[問題]

右の図で、四角形 ABCD はひし形、四角形 AEFD は正方形である。 $\angle ABC = 48^\circ$ のとき、 $\angle CFE$ の大きさは何 $^\circ$ か。

(愛知県)(***)

[解答欄]

[ヒント]



[解答] 21°

[解説]

ひし形(平行四辺形の 1 つ)の向かいあう角は等しいので、 $\angle ADC = \angle ABC = 48^\circ$

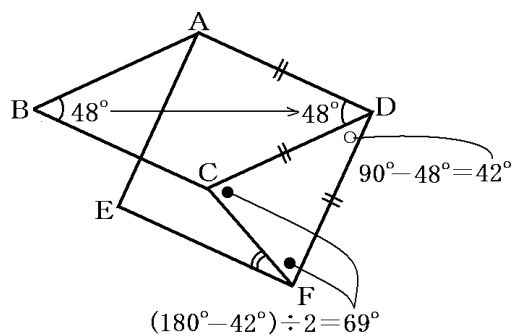
$$\angle CDF = 90^\circ - 48^\circ = 42^\circ$$

四角形 ABCD はひし形なので、 $DA = DC$

四角形 AEFD は正方形なので、 $DA = DF$

よって、 $DC = DF$ となり、 $\triangle DCF$ は二等辺三角形になることがわかる。二等辺三角形の底角は等しいので、 $\angle DFC = \angle DCF = (180^\circ - 42^\circ) \div 2 = 69^\circ$

したがって、 $\angle CFE = 90^\circ - \angle DFC = 90^\circ - 69^\circ = 21^\circ$



【】 多角形の内角の和・外角の和

[多角形の内角の和]

[問題]

右の図のように、七角形の内部の点 P から頂点にひいた線分で七角形を三角形に分けると、七角形の内角の和は、三角形の内角の和の性質を用いて求めることができる。この方法で七角形の内角の和を求める式をつくると、次の式ようになる。ア、イにあてはまる数をそれぞれ求めよ。

$$(ア)^\circ \times 7 - (イ)$$

(福島県)(*)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ア | イ |
|---|---|

[解答]ア 180 イ 360

[解説]

右の図で○をつけた角を合計したものが七角形の内角の和になる(○どうし, ◎どうしは同じ大きさではない)。

[n 角形の内角の和]
 $180^\circ \times (n-2)$

(○の合計の角度)+(◎の合計の角度)は、三角形 7 個分の内角の和になるので、

$$(○の合計の角度)+(◎の合計の角度)=180^\circ \times 7 \text{ が成り立つ。}$$

$$(◎の合計の角度)=360^\circ \text{ なので、}$$

$$(○の合計の角度)+360^\circ =180^\circ \times 7$$

$$(○の合計の角度)=180^\circ \times 7 - 360^\circ$$

$$(7 \text{ 角形の内角の和})=180^\circ \times 7 - 360^\circ \text{ になる。}$$

n 角形の場合も同様にして、

$$(n \text{ 角形の内角の和})=180^\circ \times n - 360^\circ$$

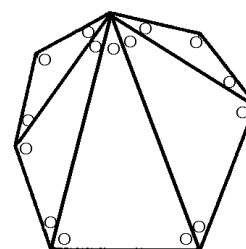
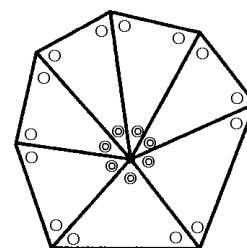
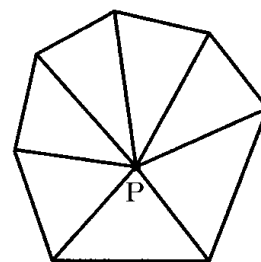
次のようにして、七角形の内角の和を求めることもできる。

七角形を右図のような対角線で分けると、 $7-2=5$ (個)の三角形ができる。図で○をつけた角を合計したものが七角形の内角の和になる。したがって、

$$(七角形の内角の和)=180^\circ \times (7-2)=180^\circ \times 7 - 360^\circ \text{ になる。}$$

n 角形の場合、図のように分けると、 $n-2$ (個)の三角形ができるので、

$$(n \text{ 角形の内角の和})=180^\circ \times (n-2)=180^\circ \times n - 360^\circ \text{ になる。}$$

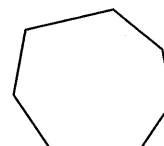


[問題]

右の図のような七角形の内角の和は何度か。

(鹿児島県)(*)

[解答欄]



[ヒント]

[n 角形の内角の和]

$$180^\circ \times (n-2)$$

[解答]900°

[解説]

(n 角形の内角の和) $=180^\circ \times (n-2)$ なので、 $n=7$ のとき、

$$180^\circ \times (n-2) = 180^\circ \times (7-2) = 180^\circ \times 5 = 900^\circ$$

[問題]

正八角形の1つの内角の大きさを求めよ。

(長野県)(*)

[解答欄]

[解答]135°

[解説]

(n 角形の内角の和) $=180^\circ \times (n-2)$ なので、 $n=8$ のとき、

$$180^\circ \times (n-2) = 180^\circ \times (8-2) = 180^\circ \times 6 = 1080^\circ$$

正八角形の8つの内角はすべて同じ大きさなので、

$$(\text{正八角形の1つの内角}) = 1080^\circ \div 8 = 135^\circ$$

[問題]

正 n 角形の1つの内角が 140° であるとき、 n の値を求めよ。

(青森県)(**)

[解答欄]

[解答] $n=9$

[解説]

$$(\text{n角形の内角の和}) = 180^\circ \times (n-2) = 180(n-2) (^\circ)$$

また、「正 n 角形の1つの内角が 140° 」なので、(内角の和) $=140^\circ \times n = 140n (^\circ)$

$$\text{よって、} 180(n-2) = 140n, 180n - 360 = 140n, 40n = 360, n = 9$$

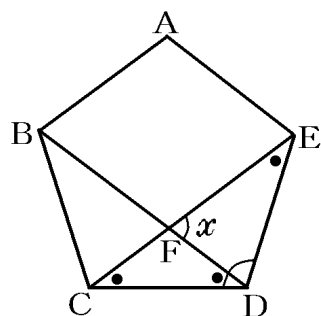
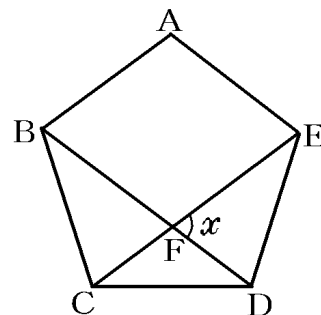
[問題]

右の図で、五角形 ABCDE は正五角形であり、点 F は対角線 BD と CE の交点である。x の角度を求めよ。

(岐阜県)(**)

[解答欄]

[ヒント]



[解答]72°

[解説]

(五角形の内角の和) $=180^\circ \times (5-2) = 540^\circ$

(正五角形の1つの内角) $=540 \div 5 = 108^\circ$

よって、右図の $\triangle DCE$ で、 $\angle CDE = 108^\circ$

$\triangle DCE$ は $DC = DE$ の二等辺三角形なので、 $\angle DCE = \angle DEC$

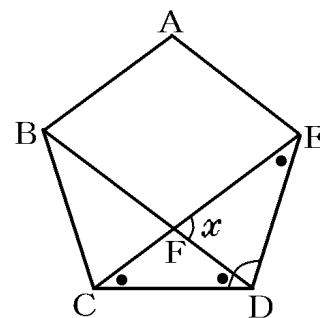
よって、 $\angle DCE = (180^\circ - 108^\circ) \div 2 = 36^\circ$

ところで、明らかに、 $\triangle BCD \equiv \triangle ECD$ なので、 $\angle FDC = \angle FCD$

よって、 $\angle FDC = \angle FCD = \angle DCE = 36^\circ$

$\triangle FCD$ で、外角 x は他の2つの内角の和に等しいので、

$x = 36^\circ + 36^\circ = 72^\circ$



[多角形の外角の和]

[問題]

n 角形の外角の和は、次のようにして求めることができる。

(n 角形の内角の和) $+ (n$ 角形の外角の和) $= 180^\circ \times n$ だから、

(ア) $+ (n$ 角形の外角の和) $= 180^\circ \times n$

これを解いて、(n 角形の外角の和) $=$ (イ)°

アにあてはまる式、イにあてはまる数をそれぞれ答えよ。

(島根県)(*)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ア | イ |
|---|---|

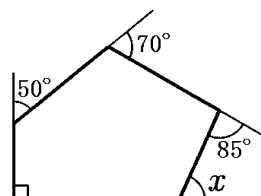
[解答]ア $180^\circ \times (n-2)$ イ 360

[問題]

右の図で、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(福島県)(*)

[解答欄]



[ヒント]

多角形の外角の和は
 360°

[解答] 65°

[解説]

多角形の外角の和は 360° になる。

図の五角形の、外角は、 $90^\circ (=180^\circ - 90^\circ)$ 、 50° 、 70° 、 85° 、 x

なので、 $90^\circ + 50^\circ + 70^\circ + 85^\circ + x = 360^\circ$ 、 $295^\circ + x = 360^\circ$

$x = 360^\circ - 295^\circ = 65^\circ$

多角形の外角の和は 360° になることは、次のようにして説明できる。

右図のように、1つの頂点から対角線を引いて三角形に分割すると、

n 角形の場合は $n-2$ 個の三角形ができるので、

(内角の和) $= 180^\circ \times (n-2)$ となる。

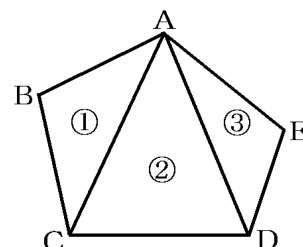
1つの頂点について、(内角)+(外角) $= 180^\circ$ になるので、

(n 角形の内角の和)+(n 角形の外角の和) $= 180^\circ \times n$ となる。

よって、(n 角形の外角の和) $= 180^\circ \times n - (n$ 角形の内角の和)

$= 180^\circ \times n - 180^\circ \times (n-2) = 180^\circ \times n - 180^\circ \times n + 360^\circ = 360^\circ$

多角形の外角の和は
 360°

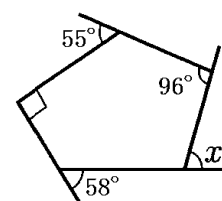


[問題]

右の図において、 $\angle x$ の大きさは何度か。

(兵庫県)(*)

[解答欄]



[解答] 73°

[解説]

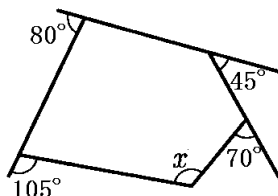
図の五角形の外角は、 58° ， $90^\circ (=180^\circ - 90^\circ)$ ， 55° ， $84^\circ (=180^\circ - 96^\circ)$ ， x なので、
 $58^\circ + 90^\circ + 55^\circ + 84^\circ + x = 360^\circ$ ， $287^\circ + x = 360^\circ$ ，
 $x = 360^\circ - 287^\circ = 73^\circ$

[問題]

右の図で $\angle x$ の大きさを求めよ。

(和歌山県)(*)

[解答欄]



[解答] 120°

[解説]

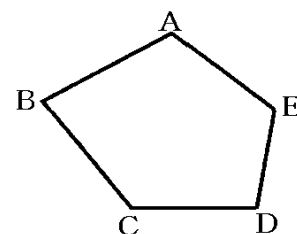
図の五角形の外角は、 105° ， 80° ， 45° ， 70° ， $(180^\circ - x)$ なので、
 $105^\circ + 80^\circ + 45^\circ + 70^\circ + 180^\circ - x = 360^\circ$
 $480^\circ - x = 360^\circ$ ， $x = 480^\circ - 360^\circ = 120^\circ$

[問題]

右の図のように、五角形 $ABCDE$ があり、頂点 A ， C における内角がそれぞれ 114° ， 130° であり、頂点 D ， E における外角がそれぞれ 78° ， 65° であるとき、頂点 B の内角の大きさは何度か。

(高知県)(*)

[解答欄]



[解答] 79°

[解説]

頂点 B の内角の大きさを x とすると、この五角形の外角は、
 78° ， 65° ， $66^\circ (=180^\circ - 114^\circ)$ ， $50^\circ (=180^\circ - 130^\circ)$ ， $(180^\circ - x)$ なので、
 $78^\circ + 65^\circ + 66^\circ + 50^\circ + (180^\circ - x) = 360^\circ$
 $439^\circ - x = 360^\circ$ ， $x = 439^\circ - 360^\circ = 79^\circ$

【】 多角形の角：応用

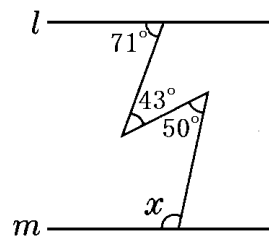
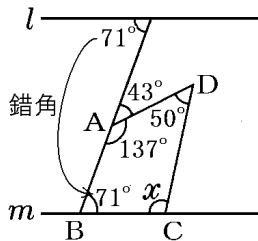
[問題]

右の図において、2直線 l, m は平行である。このとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(神奈川県)(**)

[解答欄]

[ヒント]



[解答] 102°

[解説]

(n 角形の内角の和) $= 180^\circ \times (n - 2)$ なので、

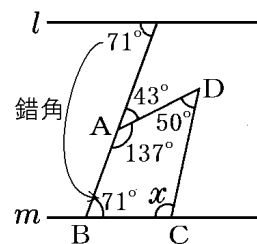
(四角形の内角の和) $= 180^\circ \times (4 - 2) = 360^\circ$

右図のように、角を移すと、

四角形 ABCD で、

$$137^\circ + 71^\circ + x + 50^\circ = 360^\circ$$

$$x = 360^\circ - 137^\circ - 71^\circ - 50^\circ = 102^\circ$$



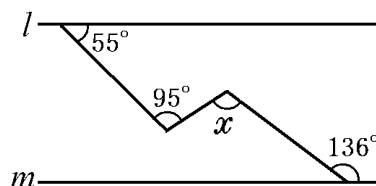
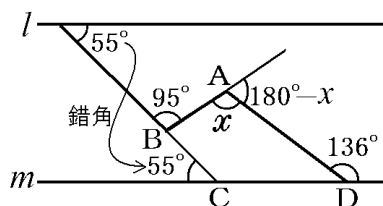
[問題]

右の図で、2直線 l, m は平行である。このとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(岩手県)(**)

[解答欄]

[ヒント]



[解答]106°

[解説]

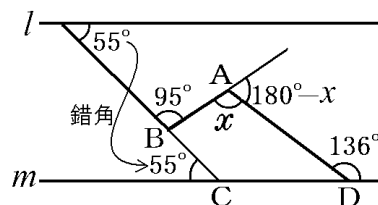
右図のように、角を移すと、

四角形 ABCD で、外角の和は 360° なので、

$$(180^\circ - x) + 95^\circ + 55^\circ + 136^\circ = 360^\circ$$

$$466^\circ - x = 360^\circ$$

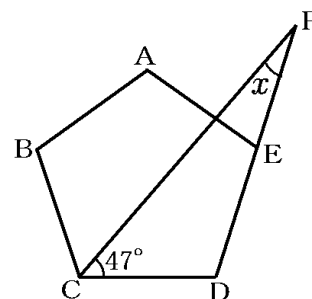
$$x = 466^\circ - 360^\circ = 106^\circ$$



[問題]

右の図で、五角形 ABCDE は正五角形であり、点 P は辺 DE の延長上にある。∠x の大きさを求めよ。

(福島県)**



[解答欄]

[ヒント]

$$(\text{五角形の内角の和}) = 180^\circ \times (5 - 2) = 540^\circ$$

$$(\text{正五角形の 1 つの内角}) = 540 \div 5 = 108^\circ$$

[解答]25°

[解説]

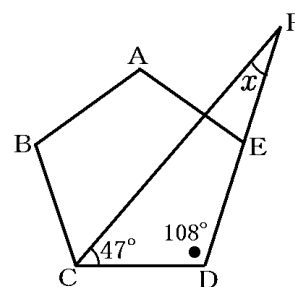
$$(\text{五角形の内角の和}) = 180^\circ \times (5 - 2) = 540^\circ$$

$$(\text{正五角形の 1 つの内角}) = 540 \div 5 = 108^\circ$$

右図の△PCD で、

$$x + 47^\circ + 108^\circ = 180^\circ$$

$$x = 180^\circ - 47^\circ - 108^\circ = 25^\circ$$

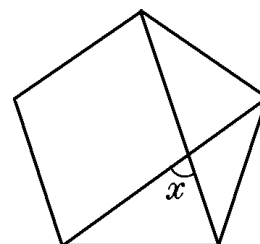


[問題]

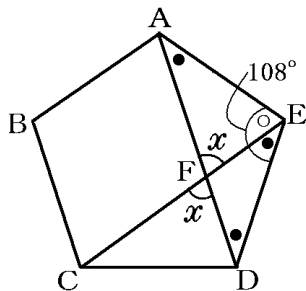
右の図は、正五角形である。このとき、∠x の大きさを求めよ。

(岩手県)***

[解答欄]



[ヒント]



[解答]72°

[解説]

(五角形の内角の和) $=180^\circ \times (5-2)=540^\circ$

(正五角形の1つの内角) $=540 \div 5=108^\circ$ なので、

$\angle AED=108^\circ$

$\triangle EAD$ は $EA=ED$ の二等辺三角形なので、

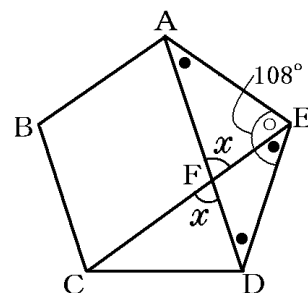
$\angle EAD=(180^\circ - 108^\circ) \div 2=36^\circ$

$\triangle DEC$ についても同様なので、 $\angle DEC=36^\circ$

よって、 $\angle AEF=108^\circ - 36^\circ = 72^\circ$

$\triangle AEF$ で、三角形の内角の和は 180° なので、

$x + 36^\circ + 72^\circ = 180^\circ$, $x = 180^\circ - 36^\circ - 72^\circ = 72^\circ$



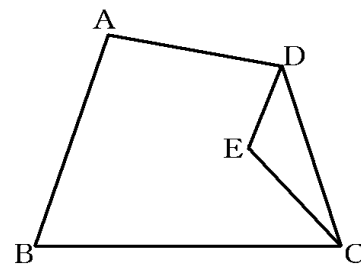
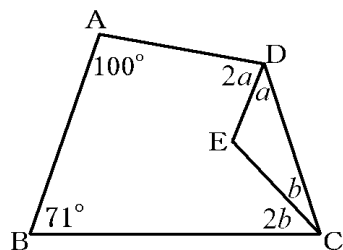
[問題]

右の図のように、1つの平面上に四角形 ABCD と $\triangle CDE$ があり、 $\angle ADE=2\angle CDE$ 、 $\angle BCE=2\angle DCE$ である。 $\angle ABC=71^\circ$ 、 $\angle BAD=100^\circ$ のとき、 $\angle CED$ の大きさは何度か。

(広島県)(**)

[解答欄]

[ヒント]



[解答]117°

[解説]

$\angle CDE = a$, $\angle DCE = b$ とおくと、与えられた条件より、それぞれの角は右図のようになる。

四角形の内角の和は、 $180^\circ \times (4-2) = 360^\circ$ なので、

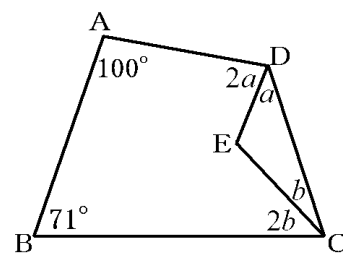
$$a + 2a + b + 2b + 71^\circ + 100^\circ = 360^\circ$$

$$3a + 3b = 360^\circ - 71^\circ - 100^\circ, \quad 3a + 3b = 189^\circ$$

$$\text{よって, } a + b = 63^\circ$$

$\triangle CED$ で、三角形の内角の和は 180° なので、 $a + b + \angle CED = 180^\circ$

$$\text{よって, } 63^\circ + \angle CED = 180^\circ, \quad \angle CED = 180^\circ - 63^\circ = 117^\circ$$



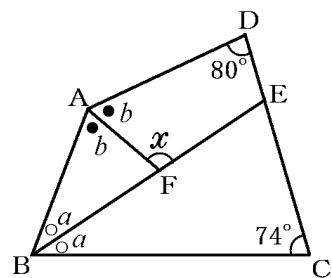
[問題]

右の図のように、四角形 ABCD があり、点 E は $\angle ABC$ の二等分線と辺 CD の交点、点 F は $\angle BAD$ の二等分線と線分 BE の交点である。 $\angle ADC = 80^\circ$, $\angle BCD = 74^\circ$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(秋田県)(**)

[解答欄]

[ヒント]



[解答]103°

[解説]

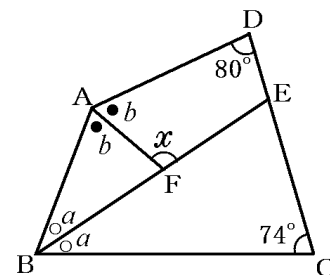
$\angle ABE = \angle CBE = a$, $\angle BAF = \angle DAF = b$ とおく。

四角形の内角の和は、 $180^\circ \times (4-2) = 360^\circ$ なので、

$$a + a + b + b + 80^\circ + 74^\circ = 360^\circ$$

$$2a + 2b = 360^\circ - 80^\circ - 74^\circ, \quad 2a + 2b = 206^\circ \quad a + b = 103^\circ$$

$\triangle ABF$ で、三角形の外角は、そのとなりにない2つの内角の和に等しいので、 $x = a + b = 103^\circ$



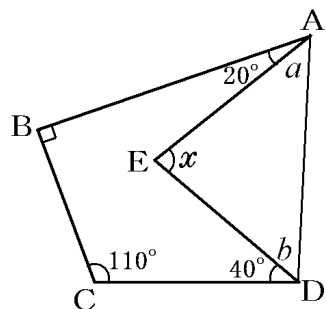
[問題]

右の図で、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(宮崎県)**

[解答欄]

[ヒント]



[解答]80°

[解説]

右図のように、AとDを結び、 $\angle DAE = a$ 、 $\angle ADE = b$ とおく。

四角形の内角の和は、 $180^\circ \times (4-2) = 360^\circ$ なので、

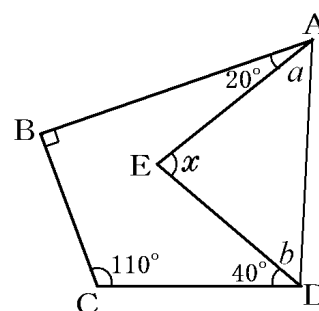
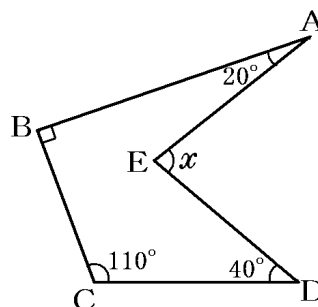
$$(a + 20^\circ) + (b + 40^\circ) + 110^\circ + 90^\circ = 360^\circ$$

$$a + b + 260^\circ = 360^\circ, \quad a + b = 360^\circ - 260^\circ = 100^\circ$$

$\triangle ADE$ で、三角形の内角の和は 180° なので、

$$x + a + b = 180^\circ, \quad x + 100^\circ = 180^\circ$$

$$x = 180^\circ - 100^\circ = 80^\circ$$



[問題]

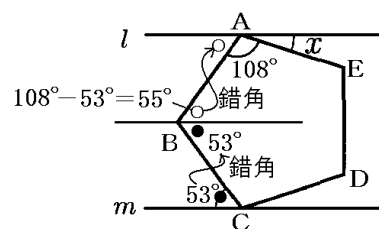
右の図で、五角形ABCDEは正五角形であり、 $l \parallel m$ である。

このとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

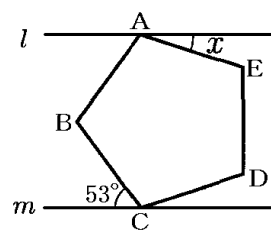
(京都府)***

[解答欄]

[ヒント]



(五角形の1つの内角) $=108^\circ$



[解答]17°

[解説]

(五角形の内角の和) $=180^\circ \times (5-2)=540^\circ$

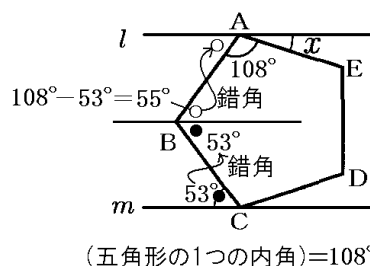
(正五角形の1つの内角) $=540 \div 5=108^\circ$

右図のように、点Bを通過して*l*, *m*に平行な補助線をひく。

図のように角度を移していくと、点Aの部分で、

$55^\circ + 108^\circ + x = 180^\circ$ が成り立つ。

$x = 180^\circ - 55^\circ - 108^\circ = 17^\circ$



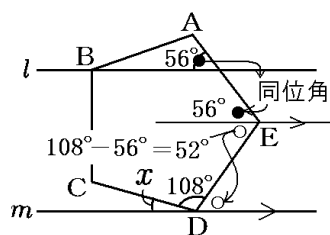
[問題]

右の図のように、正五角形 ABCDE の頂点 B, D を通る直線をそれぞれ *l*, *m* とする。 $l \parallel m$ であるとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(青森県)(***)

[解答欄]

[ヒント]



[解答]20°

[解説]

(五角形の内角の和) $=180^\circ \times (5-2)=540^\circ$

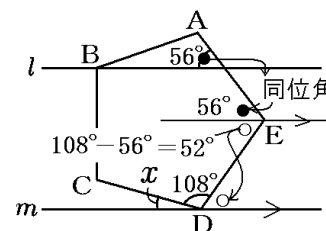
(正五角形の1つの内角) $=540 \div 5=108^\circ$

右図のように、点Eを通過して*l*, *m*に平行な補助線をひく。

図のように角度を移していくと、点Dの部分で、

$x + 108^\circ + 52^\circ = 180^\circ$ が成り立つ。

$x = 180^\circ - 108^\circ - 52^\circ = 20^\circ$



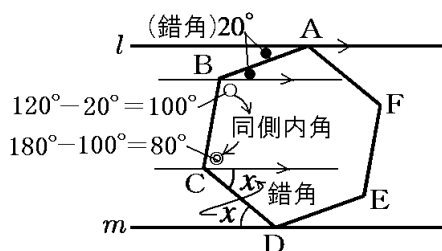
[問題]

右の図のように、正六角形 $ABCDEF$ の頂点 A, D が平行な 2 直線 l, m 上にあるとき、 $\angle x$ の大きさを求めよ。

(和歌山県)(***)

[解答欄]

[ヒント]



[解答] 40°

[解説]

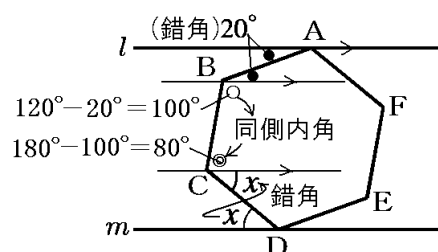
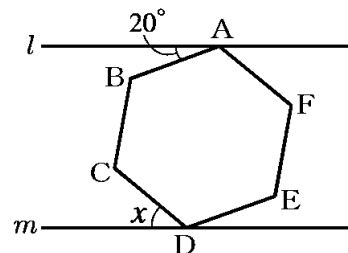
(六角形の内角の和) $= 180^\circ \times (6 - 2) = 720^\circ$

(正六角形の 1 つの内角) $= 720 \div 6 = 120^\circ$

右図のように、点 B と C のそれぞれを通過して l, m に平行な補助線をひく。

図のように角度を移していくと、点 C の部分で、

$$x + 80^\circ = 120^\circ, \quad x = 120^\circ - 80^\circ = 40^\circ$$



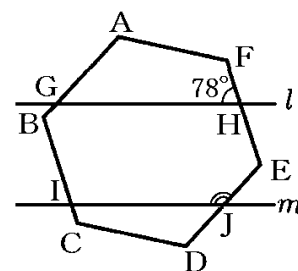
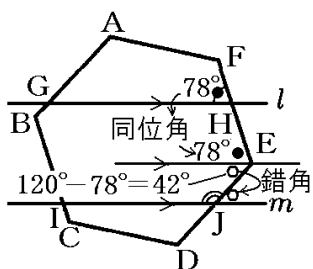
[問題]

右の図で、正六角形 $ABCDEF$ に、2 つの平行な直線 l, m が交わっており、交点はそれぞれ G, H, I, J である。 $\angle GHP = 78^\circ$ のとき、 $\angle IJE$ の大きさを求めよ。

(大分県)(***)

[解答欄]

[ヒント]



[解答]138°

[解説]

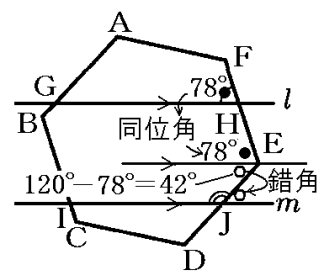
(六角形の内角の和) $=180^\circ \times (6-2)=720^\circ$

(正六角形の1つの内角) $=720 \div 6=120^\circ$

右図のように、点Eを通過して*l*, *m*に平行な補助線をひく。

図のように角度を移していくと、点Jの部分で、

$\angle IJE + 42^\circ = 180^\circ$, $\angle IJE = 180^\circ - 42^\circ = 138^\circ$



[問題]

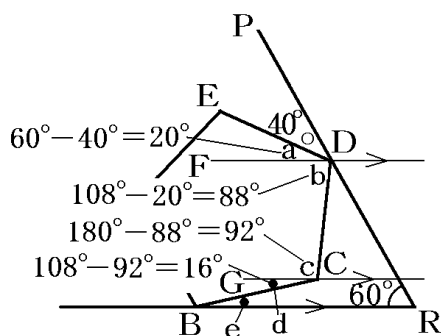
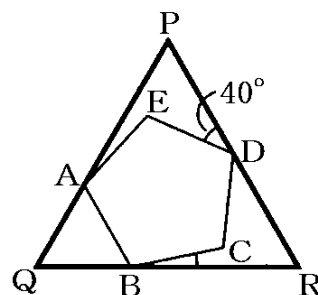
右の図のように、正五角形ABCDEの頂点A, B, Dが、それぞれ、正三角形PQRの辺PQ, QR, RP上にある。

$\angle PDE=40^\circ$ のとき、 $\angle CBR$ の大きさを求めよ。

(和歌山県)(****)

[解答欄]

[ヒント]



[解答]16°

[解説]

右図のように、D, Cを通過してBRに平行な補助線をかき、
 $a \rightarrow b \rightarrow c \rightarrow d \rightarrow e$ の順に角を求めていく。

$FD \parallel BR$ で、平行線の同位角は等しいので、

$$a + 40^\circ = \angle PRB = 60^\circ, \quad a = 60^\circ - 40^\circ = 20^\circ$$

正五角形の内角は、 $\{180^\circ \times (5-2)\} \div 5 = 108^\circ$ なので、

$$a + b = 108^\circ, \quad b = 108^\circ - a = 108^\circ - 20^\circ = 88^\circ$$

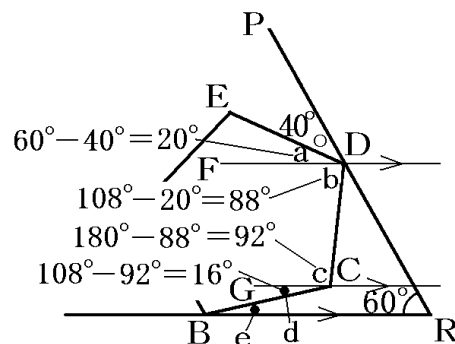
bとcは平行線の同側内角なので、

$$b + c = 180^\circ, \quad c = 180^\circ - b = 180^\circ - 88^\circ = 92^\circ$$

正五角形の内角は 108° なので、

$$c + d = 108^\circ, \quad d = 108^\circ - c = 108^\circ - 92^\circ = 16^\circ$$

dとeは平行線の錯角なので等しい。よって、 $e = d = 16^\circ$



[星形その他]

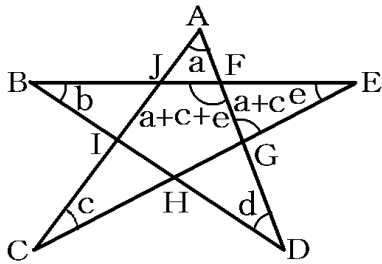
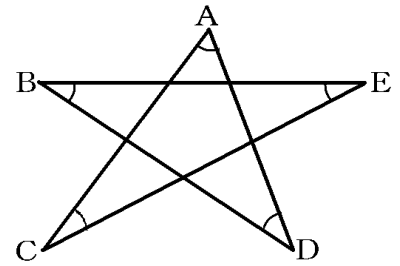
[問題]

右の図のような、5点A, B, C, D, Eを直線で結んだ星形の図形がある。印をつけた5つの角の和を求めよ。

(岡山県)**

[解答欄]

[ヒント]



[解答]180°

[解説]

図のように各頂点の角を a, b, c, d, e で表す。

「三角形の外角は、それととなり合わない2つの内角の和に等しい」性質を使って角をまとめていく。

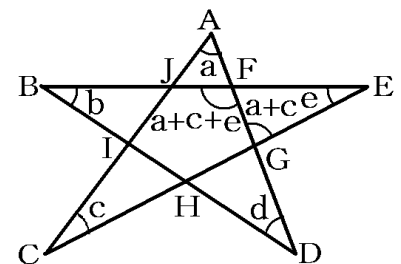
まず、△ACGで、∠AGE = a + c

次に、△EFGで、∠BFD = a + c + e

三角形BDFで、「三角形の内角の和は180°」なので、

$$(a + c + e) + b + d = 180^\circ$$

よって、 $a + b + c + d + e = 180^\circ$,

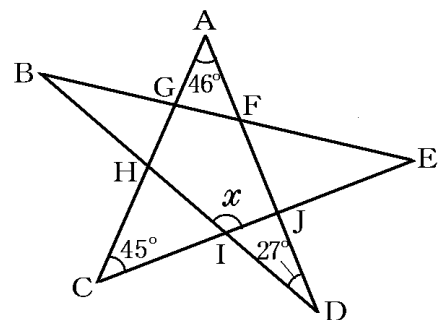


[問題]

右の図において、∠xの大きさを求めよ。

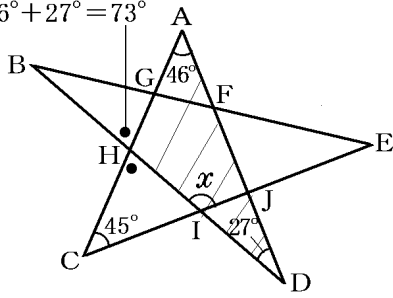
(神奈川県)**

[解答欄]



[ヒント]

$$46^\circ + 27^\circ = 73^\circ$$



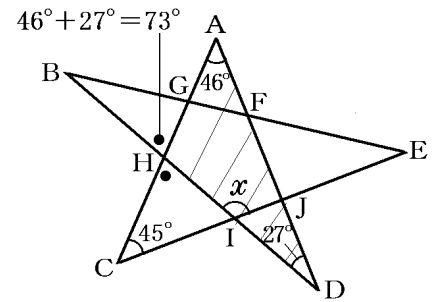
[解答]118°

[解説]

△ADH で、三角形の外角は、それととなり合わない 2 つの内角の和に等しいので、 $\angle AHB = 46^\circ + 27^\circ = 73^\circ$

対頂角は等しいので、 $\angle CHI = \angle AHB = 73^\circ$

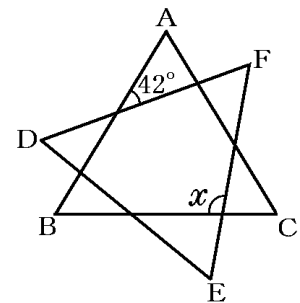
△CHI で、三角形の外角は、それととなり合わない 2 つの内角の和に等しいので、 $x = 73^\circ + 45^\circ = 118^\circ$



[問題]

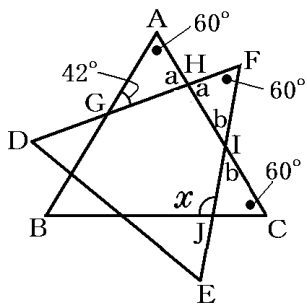
右の図は、正三角形 ABC と正三角形 DEF を重ねてかいたものである。∠x の大きさを求めよ。

(山口県)**



[解答欄]

[ヒント]



[解答]102°

【解説】

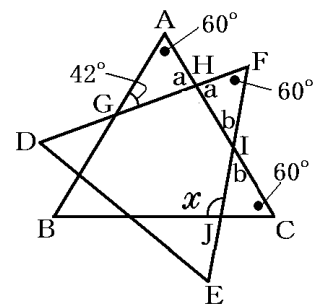
右図のように、 $a \rightarrow b \rightarrow x$ の順に角を求めていく。

右図の $\triangle AGH$ で、 $a = 180^\circ - 60^\circ - 42^\circ = 78^\circ$

$\triangle FHI$ で、 $b = 180^\circ - a - 60^\circ = 180^\circ - 78^\circ - 60^\circ = 42^\circ$

$\triangle ICJ$ で、三角形の外角は、それととなり合わない2つの内角の和に等しいので、

$$x = b + 60^\circ = 42^\circ + 60^\circ = 102^\circ$$



【FdData 入試製品版のご案内】

詳細は、[\[FdData 入試ホームページ\]](#)に掲載 ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

姉妹品：[\[FdData 中間期末ホームページ\]](#) ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

◆印刷・編集

この PDF ファイルは、FdData 入試を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないように設定しております。製品版の FdData 入試は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

◆FdData 入試の特徴

FdData 入試は、公立高校入試問題の全傾向を網羅することを基本方針に編集したワープロデータ(Word 文書)です。入試理科・社会・数学ともに、過去に出題された公立高校入試の問題をいったんばらばらに分解して、細かい單元ごとに再編集して作成しております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは、製品の Word 文書を PDF ファイルに変換したもので印刷や編集はできませんが、製品の全内容を掲載しており、どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。

しかし、FdData 入試がその本来の力を発揮するのは印刷や編集ができる製品版においてです。また、製品版は、すぐ印刷して使える「問題解答分離形式」、編集に適した「問題解答一体形式」、などの形式を含んでいますので、目的に応じて活用することができます。

※[FdData 入試の特徴\(QandA 方式\)](#) ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

◆FdData 入試製品版(Word 版)の価格(消費税込み)

※以下のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると、新規ウィンドウが開きます

[数学 1 年](#)(4400 円), [数学 2 年](#)(6400 円), [数学 3 年](#)(9600 円) : (統合版は 16,200 円)

[理科 1 年](#)(6800 円), [理科 2 年](#)(6800 円), [理科 3 年](#)(6800 円) : (統合版は 16,200 円)

[社会地理](#)(6800 円), [社会歴史](#)(6800 円), [社会公民](#)(6800 円) : (統合版は 16,200 円)

※Windows パソコンにマイクロソフト Word がインストールされていることが必要です。
(Mac の場合はお電話でお問い合わせください)。

◆ご注文は、メール(info2@fdtext.com), または電話(092-811-0960)で承っております。

※[注文→インストール→編集・印刷の流れ](#) ([Shift]+左クリック)

※[注文メール記入例](#) ([Shift]+左クリック)

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtext.com Tel : 092-811-0960